京城日報
三日夕刊
本紙定價 一部金二錢五厘一ヶ月金五拾五錢(前金)…
廣告料 …
發行兼編輯人 奥田直毅
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通二丁目 合資會社京城日報社
電話番號

總辭職決定
(三日午後二時四十分發至急電報)

三日の閣議にて總辭職と決定し四日參内伏奏す可し

露都の閑院宮殿下歡迎會

閑院宮殿下には一日露軍負傷兵を收容せる日本病院を御參觀遊ばされたり露都主催の歡迎會は市公會堂に於て開催せられ帝室劇場附著名の音樂家の演奏國技舞踏管絃樂軍樂隊等の催しあり市長は市を代表して閑院宮殿下に銀盃を贈呈し次いで歡迎の辭を陳べたるに對し宮殿下は之に答へて露都に於る熱誠なる歡迎に對し當局者に感謝の意を表せられ市民の衷心よりの歡迎に對する深厚なる謝意を市民に傳達せん事を請はせられたり閉會に臨んで日本國歌を奏する事二回熱誠溢るゝばかりの拍手喝采を以て迎へられたり右歡迎會には此頃まで露國下院副議長の任にありて新たに宮内大臣に任命せられたるプロトポポフ氏が始めて公會の席上に其影を現はしたり(露都電報)

新獨墺軍司令官

前獨逸參謀總長アルケンハイン將軍は獨墺軍司令官に任命せられたり(紐育電報)

八面より攻めらるゝ羅軍

ブカレスト來電=羅國公報に曰くウイジン(對勃羅軍左翼ダニユーブ河畔)及びヘルマンスタツト(對匈羅軍中堅)の羅軍は八面より優勢なる敵の攻撃を受け三日間の戰鬪の後南方に兵站線を確立したり尚羅軍は南より襲撃を行へる敵を撃退しつゝ更らに南方に退却したり(露都電報)

ソンム戰線再び色めく

巴里來電=三十日夕刻發表の公報に據ればソンム戰線に於ては歩兵戰行はれず又巴里來電半官報の所報に依ればソンム戰線に於て戰鬪再び開始せられ聯合軍砲兵隊は直ちに新陣地に移りたり戰備著々進行中なり(倫敦電報)

露國内相新任

露國内相にフシシプロトボウ氏新任せられたり(哈爾賓電報)

米大使釜山著

支那視察の途にある駐日米國大使ガスリー氏夫妻一行は三日午前十時半釜山驛發汽車にて京城に向へり(釜山特電)

陸相急遽歸京

大島陸相は急電に接り二日夜急遽歸京せり(東京電報)

滿洲の秩序回復

蒙古軍退却と共に宗社黨は既に解散したるにも拘らず今猶ほ名を宗社黨に籍りて長春附近、吉林方面、開原地方其他に擾亂を事とする不逞の輩あり馬賊の一派また之れと相勾結して放火、掠奪、婦女强姦等の匪行を敢てし其の一部は我が鐵道附屬地内及び關東州内にも入込み種々の暴行をなして憚らざるより關東都督府は今回峻烈なる之が取締法を發布し苟くも治安を破り秩序を紊すものは其の何國人たるを問はず檢擧の上嚴法に照らし處分する事とし數日前より其の斷行に努めつゝあるが其の結果租借地においては忽ち亂黨の影を失ひ亂黨と伍し不正行爲を敢てしたる者も俄かに搬伏して平生に復し或者の如きは遠く他に走り棗匪事變の餘波として一時物騷を極めたる滿洲各地も昨今漸く常態に復歸せんとしつゝあり我が取締の行屆かざる地方は支那警察力の微弱なる爲め當分猶ほ擾亂を見るべきも大體において一時の如く亂れたる滿洲も次第に靜穩に赴きつゝあり(大連)

三線運賃問題
全鮮會議所の意見開陳

三線運賃問題が大連市民の撤廢運動に依り來る五日當局者の再協議會開催の結果萬一距離比例制度が延期若くは撤廢せらるゝが如きことありては邦家の爲め遺憾少からざるが故に全鮮商業會議所は悉く該制度實行の期成運動を開始したるが釜山商業會議所會頭大池忠助氏は全鮮會議所を代表して廣く官民有力者の間に左の意見書を送り全鮮の新聞社にも此際大に助力を與へむことを求め來れり

▲三線連絡運賃問題に關する意見

帝國の大陸政策は、新領土たる朝鮮を以て經營の根據とし、朝鮮鐵道を以て歐亞連絡の幹線たらしめざるべからず。此幹道を疎外し、强いて母國滿鐵間の連繫を海上連絡に偏倚せしめんとするは、大連及び連奉線を保護せんが爲に、朝鮮及び鮮鐵一千哩を犧牲とする片脚政策なりと謂はざるべからず滿鐵と謂ひ鮮鐵と謂ふも、等しく帝國の軍事、交通、貿易機關にして、一局部の利害の爲に、大局の打算を誤るが如きは、國家政策を無視する者。況んや機會均等主義の許に置かれたる滿鐵の列國競爭線を低率とし帝國の商權に屬する安奉線を高率と爲し、國境關税減の特制を無意義ならしむるは、斷じて我が商勢を滿蒙に扶殖すべき所以に非ざるなり。元來今次の三線連絡問題たる滿鐵營下の安奉、連奉兩線を距離に比例して同率たらしめんとするに外ならず從來海港特定運賃に依り、短距離にして而も帝國の幹道たる安奉線と、長距離なる連奉線を同一運賃と爲し來れるは畢竟現代に處する公正なる運輸政策ならんや。反對論者は、陸運を以て海運を壓迫するものと爲すも、海陸各々長短得失あり、宜しく安奉、連奉兩線を公平なる距離比例運賃と爲し、貨物の移動をして自然に委せしむべきなり更に鮮滿貿易貨物が、安奉線距離比例運賃に均霑するは勿論にして、若し一右連絡運賃制の撤廢又は延期を見るが如きこと有らん乎、即ち是れ鮮滿貿易の發達と、殖民地の統一とを阻害し、帝國の大陸政策を誤るものなり、茲に吾人の所信を陳して大方諸彦の贊同を希ふ

大正五年十月一日

全鮮商業會議所代表 釜山商業會議所會頭 大池忠助

總督に祝電

去る一日は朝鮮總督府始政第六周年記念日なりしを以て若松釜山府尹は府民を代表し目下滯京中の寺内總督に左の祝電を發せり

第六回始政記念日に當り府民に代り謹んで祝意を表し閣下の御健康を祈る

右に對し一日午後左の如く返電ありたり

貴電拜誦第六回始政記念日を迎へ御同慶の至り茲に貴府の益々繁榮ならん事を祈る

政務總監招宴

四日正午より山縣政務總監は總督官邸に米國大使ガスリー氏夫妻上院議員ゼームス夫人同ホール夫人米國總領事ミラー氏夫妻を招待午餐會を開く由なるが[illegible]秋山參事官持地土木局長同夫人遠藤秘書官菱田通譯官同夫人も亦陪席すべし

定例長官會議

三日午前十時より總督府會議室にて定例長官會議を開會山縣政務總監以下各部局長官及び代理者參集通常政務を議せしが例に依り古海警務總長秋山參事官持地小松鈴木各局長も列席せり

臨時研修會開會

四日午前八時半總督府第二會議室に於て臨時研修會を開き文學博士三浦周行氏の「地理法に就て」なる講演ある可し

川村元帥出迎

元帥川村景明子四日午後九時著列車にて入京に付高橋總督附武官は同日午後四時半發列車にて水原まで又立花古海兩中將、泉少將等は永登浦迄出迎ふべしと

西川少將動靜

二日夜入京せる西川參謀本部第四部長は三日午前八時朝鮮ホテル發龍山總督官邸に寺内總督を訪問午後は山縣政務總監を始め司令部第十九師團司令部を更に昌德宮に伺候秘苑を拜觀し其他市中の視察を試みたるが齋藤憲兵隊司令部副官終始案内し尚ほ少將は四日午前八時卅分南大門驛發東上す可し

古海總長招宴

古海警務總長は二日午後七時四十分より入京せる西川參謀本部第四部長を主賓とし立花師團長白水少將野田副總裁隈部岡本高橋谷大佐竹内中佐大橋陪賓として招待朝鮮ホテルに盛宴を張れり

白水參謀長張宴

白水軍參謀長は三日午後六時三十分より入京中の西川少將を喜久家に招待し宴を張れるが立花古海兩中將其他在京軍憲十數名陪席せり

兩夫人の先著

米大使と同行入京の筈なりしゼームス、ホール兩夫人(米國上院議員夫人)は大使夫妻に先立ち三日午前八時五十分著列車にて入京せり

米國大使出迎

菱田總督府通譯官は三日正午發列車にて水原に南下駐日米國大使ガスリー氏一行を出迎せり

石塚長官歸期延引

東上中の石塚農商工部長官は三日頃歸任の筈なりしも用務の都合上延期となれり

荻田課長出發

荻田總務課長は統計事務視察の爲め三日午前九時二十分發列車にて元山に向へり

隈部々長仁川視察

隈部警務部長は仁川に虎疫其他一般衞生狀況視察の爲め二日夜八時五十三分南大門驛發列車にて仁川に出張三日歸任の筈

フレンチ救世軍大佐

朝鮮救世軍司令官フレンチ大佐は三日朝釜山發同夜南大門著入京す

宇都宮視察團

宇都宮商業視察團一行十七名は三日午前八時著列車にて京義線方面より入京天眞樓に入れり

訓練院學校敷地調査

訓練院小學校の建築に付ては目下敷地の地層調査中なるが五日頃迄に全部終了し設計認可の指令に接し次第直ちに土工に著手すべしと

氏子總代協議會

京城府にては既記の如く三日午前十一時より本町筋の氏子總代約六十名を召集して今回發布されたる町洞總代規則に因り町總代選擧の件に就て協議會を開きたり金谷府尹、石原庶務官宮舘本町署長等出席せり

鮮銀券發行週報

九月二十三日より三十日に至る朝鮮銀行券發行高週報左の如し

發行高	三一、八六六、九一九圓
正貨準備高	一〇、七三〇、二一三
保證準備高	二一、一三六、七〇六

仁川

▲警務部長視察 隈部警務部長は三日午前十時來仁防疫事務の視察をなし同日歸任の筈

▲鮮銀支店長 鮮銀仁川支店長島井治氏は所用の爲め上京一泊の上三日午前十時歸任したり

▲防疫事務打合 仁川警察署にては三日午前十一時より防疫事務の打合せをなしたり

▲婦人會寄附 西本願寺佛教婦人會より貧民救助費として二十圓寄附したり

▲檢疫委員任命 仁川府書記大野重喜、河野勝一郎、田中勝二郎、櫻木昌藏、崔斑夏、尹永重、劉秦國、金在權、孔天錫の九氏は二十九日附を以て各檢疫委員を命ぜられたり

▲與田會頭上京 與田商業會議所會頭は二日上京一泊の上三日午後歸任の筈

元山

▲元山商議の動搖 元山商業會議所會員岩武島吉、岩尾百造の兩氏は去る二十三日附突如山縣政務總監に對し元山商業會議所議員再選に就き訴願するところあり、即ち之れが理由としては去る七月上旬を以て執行せられたる評議員選擧に際し代人及び代筆等不正投票の混入せるを指摘し以て全然選擧法違反なりと主張したるものなれば總督府よりは直ちに元山府尹宛右訴狀を廻附し來り更に村地府尹は商業會議所に對し之れが實否の如何に就き訊問を發したる爲め會議所に於ては二十九日來委員會長及び各委員集會の上事件の眞相に就き頗る嚴格に取調中なり

▲小學校運動會 元山公立尋常高等小學校に於ては來る十月十日を卜し例年の如く秋季運動會を開催する筈にて目下其の準備中なるが本年は兒童も著しく増加し居れる事なれば當日は定めて盛況を呈するならん

▲輸出牛累計 元山稅關管内より客月中に於て輸出したる生牛は五百五十三頭二萬四千三十三圓に達せり之れを前月に比する時は頭數に於て五頭を増加したりと雖も價格に於て三千八百五十圓の減退を示し居れり

西鮮行寸信
九月二十九日樂山鑛山にて 日新生

▲二十九日は樂山金鑛の記念日に兼ね第二製錬所落成祝賀の大饗宴あり集るもの近郷近在の賀客所員鑛夫等五百餘名と注せられ役員の大人達何れも盛裝して酒間を斡旋致し候餘興には花火あり相撲あり芝居あり角力の全勝者には賞品として生牛一頭を賜り候

▲安瀬山は今や旭日の勢にて大正二年には漸く五萬圓の鑛產額に過ぎざりしもの四年には一躍十三萬圓を越わ本年は九月までに於て既に昨年の產額を凌駕致し居り加之新に設備せる第二精錬所は其の能力第一精錬所に三倍致し候へば明年の精錬額は今年に倍蓰すべく又た目下出願中なる溫泉の許可を得ば茲にて更に精錬所を設置する計畫の由に候

▲此の邊は索山間の僻地とて附近には當初僅々三四十戶の民家ありしのみなりしも今日にては鑛區内のみにて百數十戶を算し尙ほ當山に依つて直間接に衣食せるものを數ふれば少くとも一千五百戶を下らず候小林鑛主は何時も當山の發展は地方の發展にて所員の勉否如何は國家の生產に消長す之れを統ぶる余の責任は重且つ大なりと申居り候が尤も次第の事に存せられ候

人事往復

▲井上要之助氏 ▲荒井彦氏(以上古海合名會社員)二日夜入京朝鮮ホテルへ ▲バロサス氏(英會社員) ▲アフンド氏(米國山業) ▲ザールフ氏(同) ▲ノーブル氏 ▲バブルツク氏(米人)同上

▲安藤靜氏(朝鮮寫眞通信社長) 三日朝南大門發列車にて東上

▲武田近次郎氏(仁川大阪商船支社長) 二日午後釜山上陸歸任

西川將軍旅中吟

入京中の西川參謀本部第四部長の旅中吟を得たれば左に掲ぐ

北京偶感

三入燕京托短筇。燕山渤海奮時容。四門衞士戎衣薄。己見蒲城秋意濃。

滿洲途上

四顧山川茫莫涯。美哉平野壯心馳。黃雲滿目連千里。秋熟豐饒又此時。

好機逸すべからず
名人呂昇の五日目

一御祝儀 昇玉
一岸の姫松 昇女
一信切記三ノ口 飯原兵衛館之段 上かんや之段 金昇
一阿漕浦 平治住家の段 都昇
一先代萩御殿 政岡忠儀の段 呂勇

一梅川 忠兵衛新口村 雛駒
一御所櫻 辨慶上使の段 右昇
一攝州合邦ケ辻 合邦内の段 喜昇
一三十三間堂 平太郎住家の段 昇六
一いざり 三人上戸の段 東廣
一三勝半七 酒屋 呂昇

京城本町一丁目 有樂館

中華高等御料理

増築落成

每々御引立を蒙り難有奉存候御贔負樣の多くなるに從ひ家屋も狹溢を感じ候に付豫て屋上を増築中の處今程愈々落成仕り候
就ては増築御披露の印として大々的勉强可仕候間何卒御來遊の程願上候尙料理の義は時節柄最も衞生に注意し材料等も極て新鮮なるものを撰み居候

開業參年 金谷園
長谷川町九七(電一五二五)

大活躍の十月號 文藝倶樂部
定價金二十八錢。郵税二錢半 前金(四册一圓十七錢、八册二圓廿五錢、十二册三圓卅二錢)郵税共

小說
出雲橋……吉井勇
花子のゆくへ……渡邊默禪
伊勢屋騷動……[illegible]
針供養……渡邊霞亭
▲演藝當座帳……鬼太郎
▲雜誌上連鎖女優發明家……吉山旭光
▲帝劇俳優……あさひ生
▲松竹の女優達……岡太郎
▲批評劇記……思案外史
講談 兩國八景(新講談)……小金井蘆洲
▲明治座女史劇 秋の夜話(芝居見たまゝ)……鈴木春浦
△御即位式今昔の變遷……吉丁字
△呉服屋の娘(募集落語)……田中良賢
△東京十五區の寄席……桔城生
▲淨瑠璃 日高川入相櫻……暁鐘之助
△乾燥洗濯の流行……雨生
△西陣の織姫……孤村生
▲花柳奇譚 千圓の貯金……中内蝶二
△雛妓さんの日記……なにがし
△花柳ゴシツプ……飛田隣外
△聲色珍劇會……火生
▲小說 實意くらべ……近藤京魚

東京本町 博文館

米國大使ガスリー氏

◉碩學にして外交官

三日夜入京する駐日米國大使

三日午後九時入京の駐日米國大使ガスリー氏は豫ての希望であつた朝鮮及び支那の旅行を試むべく途を朝鮮鐵道にとつて

■京城にも一二泊の豫定である、氏は日本駐劄の米國大使として實に五人目の人であつて且つまた米國の現民主黨出身者として日本に使した人の嚆矢である、ガスリー氏は一千八百四十八年ペンシルバニヤ州のピツバルグ市で生れた――同地は米國に於ける大鐵工場の所在地として有名な所である、氏は青年時代を米國に於ける二三の大學に學び文學博士、法學博士及び名譽

■大博士の學位を有つて居る、法科大學卒業後は已に廿五六才にして故郷ピツバルグ市で辯護士を開業し爾來駐日大使となるまで辯護士であつた、其の他ペンシルバニヤ州及びピツバルグ市に於ける商業會議所議員だとの政黨支部長などの公職にも從事し頗る温厚な人物として郷黨の尊敬を受けて居た、後ウヰルソン氏が白堊館に入るに及んで駐外公使大使には專ら

■著名な大學教授とか辯護士などを任命したので氏は其の高潔温厚なる人格を以て日本駐劄大使に選ばれたものです(森田通譯官談)

◉暢びて行く空界の威力

武藏野の平原と濃尾の平野北陸の高原に競爭的に新設されたる飛行場

増設費二十萬圓の豫算を以て經營さるゝ岐阜縣下各務ケ原の第二航空大隊は幾に大藏省豫算査定會議を通過したるのみ今後尚ほ議會の荒浪を越ゆる必要あるも特別緊要の要件として勿論通過すべく元來航空大隊は全く軍事行動を取るものにて飛行上一切の研究を行ひ飛行將校の養成を圖る彼の陸軍氣球研究會とは全然別箇のものにて今回は經費の關係上第二航空大隊の各務ケ原飛行場を研究會に屬せしめ居れり各務ケ原十六萬坪の民有土地買收も研究會の手に行はれ新設置の飛行場は來年度を待つことなく直に工事を起し明春三月迄には既に買收せる土地を陸軍用地と合せて五十萬坪の地均しを爲し格納庫二棟と鍛冶工場一箇所、木工所一箇所及び觀測所を兼ねたる事務所、飛行將校集會所を新築するに止り其規模頗る小なるも漸次年を逐うて擴張すべく敎官は其の附近の地理に精通し居る飛行將校を採用さるべく現在にては岡大尉澤田中尉など最も適任として特に注目され居り亦北陸道に於て高田附近を相し此處に第三飛行場を新設せんとするは陸軍當局の希望にして北陸方面の防備上より言ふも必要なるとは勿論平素の練習上より見るも遠距離飛行を行ふに最も有効なりと認められつゝあり更に最も必要なるは競爭心の發生にて東京附近と濃尾の平野と北陸の高原と此の三箇所に於て練習するとなるや勢ひ奮鬪を加ふるに至るは人情の然らしむる所或はこれが爲に多少の犧牲を拂ふに至るやも知れざれど又止むを得ざる次第なるべく飛行機の編成は三個中隊とするか四箇中隊とするか軍機の機密に關することなれど假に歐洲戰前の例に倣ふとするも一個中隊十二機として四個中隊ならば四十八機となるわけにて各地に分れて互に競爭することゝなるに於ては其發達も目醒しきものあるべし(東京)

◉陣中の秋田美人

島原女を下に見て―劉將軍の出陣に轎でお供―廣西の山奥で軍國の女丈夫振り―革命軍の紅一點

久しく雲南に在て李烈鈞の帷幕に參し最近佛領印度支那を惡駈して歸つた某氏の談に曰く『佛領印度支那方面も矢張歐洲大戰亂の影響を受けて今年の春から安南土人兵も大分希臘の雅典方面に輸送されてゐる、所でいざ派遣となると其

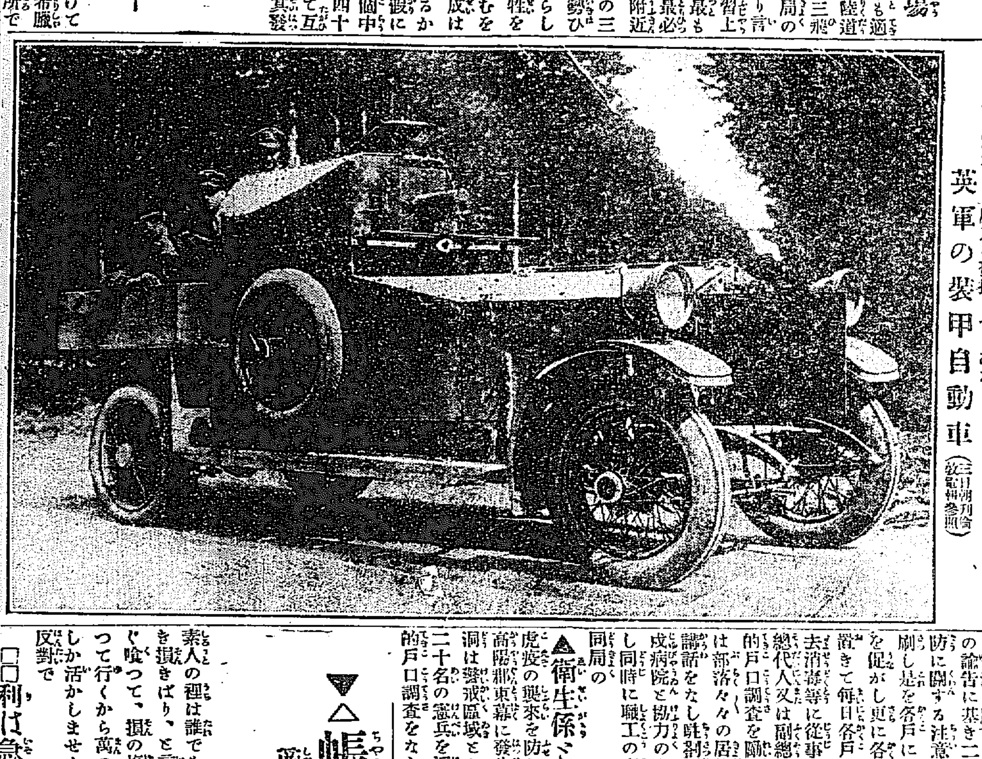
▲兵隊の亂暴さ加減は實際支那兵以上で白晝掠奪はやる、強姦はする、佛人兵を毆る甚しいのは殊に佛國將校の婦人に怪しかる眞似をした奴さへあつたといふ有樣だから物騷限りなしである而して此佛領印度に來てゐる本邦人は大部分東京省の河内と海防に居るが全部で二百人位である例によつて其過半數は洋妾に非ずんば醜業婦で振はない事夥しい然かも娘子軍の十中の八九は日本とは島原天草の事

▲東京は長崎位のものだらうなんと云ふ連中だから情無い彼等は非常に佛國人は崇拜してゐるそれは醜業婦から受出されるのが其宿望であるからである併し其中には偶毛色の異なつた手合ひが無いでもない確か生れは秋田あたりで

▲通稱を照子と云ふ女がある、つた廿一つたるい鼻にかゝつて北國訛が少なからず島原出身の特色たるバッテン式中に異彩を放つたものであつたが何時か雲南の騎兵旅團長劉さんと互に思ひ思はれ散々浮名を流した末念願首尾能く届いて劉少將の御妾に收まりへかつて尠からず羨望の的となつて居た、處がそれも束の間で昨年來雲南が獨立軍を起すやうになつて

▲郞君の劉氏は遊擊隊司令官として貴州方面に向ふ事となつた人の惡い連中は照子が何うするであらうかと注意の眼を放つてゐるとその後威風堂々と省城を出發した遊擊軍の後尾に嚴しく護衛された一挺の轎こそは誰あらう劉少將の夫人照子の方で一寸其處迄見送りにと云つて出たまゝ

▲遊擊軍中の紅一點、貴州の果てから廣西の山奥まで到る處劉君に附いて廻り今は蒙自あたりで盛んに軍國の女丈夫振りを發揮してゐるとやら之を聞いた革命軍の面々も流石に開いた口が塞がらず劉の馬鹿野郞と怒つたり羨んだりしてゐるさうだ(門司)



佛國戰場にて威力を發揮しつゝある英軍の裝甲自動車(三日朝刊論說參照)

◉女の言分が法廷で通つた

京城水下町櫛應魯方同居金英子は李照穆辯護士を訴訟代理人とし冷洞居住男爵金永哲氏を相手取り離籍申告手續き履行の請求訴訟を京城地方法院に提起せしが原告の要旨に依れば金英子は明治四十一年三月妓生稼業中前記金男爵の長男金英洙より落籍されて妾となり爾來同棲し居れる內本年八月十八日金英洙より亂打され同時に離緣することゝなりて別居せざるより遂に訴訟を提起したるものなるが、是に對し金永哲氏は金正稷辯護士を訴訟代理人として原告の請求は棄却を求む其理由として金英子の落籍に際し數百圓の身の代金を支出し居り萬一離別する際となれば之が賠償をなす契約ありこの約束を楯に取りて相對したるも此は何等取柄となるべきものにあらずとのことにて此程被告は長男金英洙の妾たる旨の民籍上の登錄を抹消すべしとの判決となりて原告の勝訴に歸したり

コレラ彙報

▲仁川三百九十一名 仁川及び富川郡に於ける虎疫發生數は三日正午迄に五名にて發生以來總數三百九十一名に達したり

▲麻浦に發生す 嚴重に防疫勵行

龍山にては仁川及び京城高陽郡等に虎疫流行して恰かも包圍されたる形となりたる爲め同地居住の內鮮人は自發的に防疫に努め居れるが龍山憲兵分隊にても各町總代と協力し既に種々の施設を爲し居れり尤も二十數名の各町洞總代は分隊より臨時に

▲應急策として 任命し分隊の諭告に基き二十餘箇條なる虎疫豫防に關する注意を各總代人に於て印刷し是を各戶に配布して一般の警戒を促がし更に各町洞には常設人夫を置きて毎日各戶を巡廻して汚物の除去消毒等に從事せしめ同時に憲兵は總代人又は副總代人と共に毎日檢病的戶口調査を勵行し居り一方分隊長は部落々々の居住者を召集して防疫講話をなし叱咤軍の警戒に就ては總成病院と協力の上嚴重なる豫防を施し同時に職工の多數なる鐵道局にも同局の

▲衛生係と協議の上極力虎疫の襲來を防ぎ殊に隣接し居れる高陽郡東幕に發生したるを以て麻浦洞は警戒區域となして同洞のみに約二十名の憲兵を派して嚴重なる檢病的戶口調査をなし居り東幕との交通に就て七箇所の看視所を設けて怠らず怪しき病者に對して檢便をなし居れる內麻浦洞九十五番地飯屋林崇信妻除氏(四七)は一日吐瀉をなしたるを以て大消毒の上探便檢鏡の結果陰性なりしが同人は二日午前五時遂に死亡したるを以て其後嚴重の措置をなしたるに三日午前迄に眞正と決定し龍山分隊管內にも發生したる次第なり

▲櫻井小學校の疑似患者陰性と決す

櫻井町一丁目六十六番地宮本千代喜次女とよか(九歳)は櫻井小學校尋常科二年生なるが二日午後九時半頃疑似コレラ患者として順化院に收容せられたれば學校に於いては三日朝校外に職員を配置して兒童の登校を禁じ花園町空地に於いて諸種の注意を與へて歸宅せしむると共に一方校室の消毒を決行せしが兒童解散後に至りて該病人は檢鏡の結果全たくコレラ患者にあらざること判明したれば四日より通常の通り授業を行ふことゝなりたり

◉昇六の後援會

目下當地有樂館に出演中の豐竹呂昇の養女昇六の美音、節廻等は全く一種の天才に出で後日二代目呂昇として必ずや出藍の譽れを博すべき資質あるを賞し一は同人の藝道獎勵の爲め一は同座の人氣引立の爲め朝鮮新聞、朝鮮公論、京城通信、京城日報の四社聯合して發起となり開期中昇六會を組織し二階正面特等席を仕切りて應援席を設くとすばらしき人氣と謂ふべし

▲一家斃る 既報の如く牧の島瓦製造職人中島幸三は去る二十九日虎疫發病し直に傳染病院に收容したるが其後一日妻(ヒサ)も又復虎疫の侵す處となり同じく收容せられたるが又もや二日に至り長男德夫(十七)は身體健康なるも交通遮斷中に檢便の結果菌保有者と決定したるが同じく附近の鮮人小使金守連も同樣菌保有者と判明せるを以て何れも傳染病院に隔離收容せらる中にも前記の中島幸三一家は全部虎疫の爲め傳染病院に收容せられたりとは哀れなり

▽△帳場格子の前にて 二

商賣いろ／＼草紙 仲買になるまで

▽倒れては起き／＼▽――口では朝鮮銀行が懷中にあるやうな奴▽――素人には呑み込めない三日三晩一室に閉ぢ籠る▽

素人の理は誰でもさうですが、利急き攫きばり、と言つて利があれば直ぐ喰つて、損の場合は何處までも追つて行くから萬の金を有つても百しか活かしませんが、玄人になると反對で

□□利は急がず 損は急ぐ、覺り利益のある場合は氣永して損の場合は元金を揚らない中に仕掛米をするから百の金を千にも萬にも活かす事が出來るのです、素人には此處のコツが解らぬから皆な失敗するんです私も今こそ多少樣子も解つて來たが其當時は殆んど

□□無我夢中で 買に向つた米が其日の中に二十丁も暴騰したお蔭で二三千圓許り儲けた金を翌々日は葛籠を質屋に運び込んだ事なども あつたんですよこんな風ですから口でこそ朝鮮銀行が懷に居る樣な事を言つても愈々場所に入ると雨か雲か將又風雨か心は蛇の樣に緊張して一節毎に胸は一喜一憂に或は燃ゑ或は躍り或は慄へ或は

□□天井が揺り 下つて大地が揺れ上るかと思はれる樣な時もありますので未だ場所慣れぬ素人などは往々卒倒する者さへありますよ、いや玄人と雖もあまり甚い損害の時は三日三晩一室に拳を固めたまゝ閉ぢ籠つてやつと心が落着いて手を開いて見ると拳がどうしても擴がらなかつたとか精神に異常を來して

□□剃刀で自殺 したとか、言ふ樣な悲劇を演ずる事などは屢々耳にします斯んな具合に七轉び八起の裡に斃れる者は斃れて了ひ、意氣地の無い者は合百、現場、呑屋、(仁川には絶對にない)等に成り下つて市場の周圍に群がつては賭博同樣の事をして巡査の顏を見れば直ぐ蜘蛛の子を散らす樣に逃げて了ふ手合もあり、幾年經つても頭の上らぬ者もあつて結局仲買人にでもなる者は

□□相當の經驗 と資力と人格を有つた者が朝鮮ならでは總督府から認可を受けて始めて仲買人の鑑札を貰ふのであります、此の仲買人と言ふ職業も極めて危險の者で仁川で成功して居る仲買人の中には客に倒された者もあり、又思惑をやつて失敗した者もあつて今でこそ何れも

□□健實で信用 も隆くなつて來ましたが一時は隨分危ない淵を渡つては墜ち溺れては彼岸に達し又溺れる樣な重疊たる波瀾を經て來た人もありましたよ

都山流尺八指南開始 直門 佐藤都令 京城南山町秋吉邸前

讀者文藝(一等には五十錢の書籍券を呈す)

△一口噺

○京城の妓生連が多人數、訴訟で裁判所に乘り込むのを見て 與太『豪氣だなー大した花代だろー』(一等) 京城 白樂天

△債權者『今日は御在宅でしやうな』 債務者の妻『主人は只今外出中で御座います』 京城 耐崎生

▲顧客『成鏡北道で六七十貫もある巨虎を獲したと』 物識らん『ヘロー虎列拉も捨て、泣くなか／＼大きくなると見ゑますな』 春川 主公

▲虎列拉の豫防注射が六十錢で一年間發效すると云ふことを新聞で見て總督府醫院へ出掛けた與太『三箇月分だけ注射を願ひます』 龍山 山家 乔公

圓課題及び募集規定は欄外にあり

●六年前の殺人 事件無罪 ……の財産を横領せん爲同地の長坂七太郞を殺害し……ありたるが長坂七太郞並に崔在交の兩名は今回任審理中な(釜山)

同正賢、同榮、同貞身、福田敏子、同頭子、……

圓課題(新體詩及文藝) 課題及募集規程

圓募集規程 ▲用紙は端書又は同型の洋紙一枚毎に紙上の雅號又は匿名の外に住所氏名明記の事▲賞品は一……

天気 ▲晴れ一時曇り ▲十月四日(三日午後六時迄)

〔演藝案內〕

櫻井町 大正館 電話八七三 十月三日より特別興行 ○伊太利ミラノ會社傑作 ○伊太利アムツアの大慘事 ○活劇 ○泰西活劇 波の上 全三卷 ▲男を研く荒仕事 ○舊劇 尾上松之助十八番 命掛けの撮影 血染の纏 全三卷 ▲父の仇 ○新派活悲劇 二人の母 全四卷 ▲餘興として少女浪界の重鎭日吉川うの子孃出演當年十二歲東京初下り

京城壽町 電話五七八番 壽座 二日目繪組 ▲春日局 ▲復仇討

特別興行 大正館 松之助十八番命掛の大撮影 舊劇 血染の纏 新派悲劇 二人の母 餘興 少女浪花節界の花形來る 日吉川うの子孃 初日納物 神崎與五郞東下り上下二席

日本活動寫眞株式會社特約 本町一丁目 電話二六六 有樂館 一御祝儀 壹之入船 一御見山六ツ目 一忠臣藏六ツ目 一勇 一太功記十段目

天然色活動寫眞株式會社朝鮮一手代理店 電話 二八五二 二六三七 黃金館

電話 二九一 御成座 朝鮮新派劇元祖 林聖九 一行每日開演

M EP 品質本位 ゴム 大阪唐物町四飯田商店

近頃 ◎思ひ切つたやり方!! ◎お早ひ方がお德!! 色合はお好み次第 十月五日より 一反毎に おめし八掛地 新柄 但し一日一 おめしやデー 一枚無代進呈致し候 五十人限 十月九日まで 又十日より十四日迄 例年の通り 見切品大賣出しを致し候 ◎專門店は又專門店の特色有之候間何卒賑々しく御來觀の程奉願候 京城本町 電話八九〇番

[illegible]

皇后宮御眞影を御下賜

各學校へは天長節祝日迄に御下賜

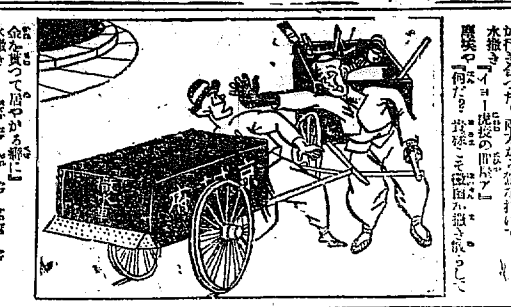
去る七月五日御撮影の皇后陛下御眞影は、各皇族方を始め奉り、大勳位、親勅任官以下の高官並に全國各學校に御下賜あらせられますので、目下宮城内製作所に於て謹製中でありますが、總數約一萬二千枚の由にて、全國各學校の分は來る十月三十一日天長節祝日迄に夫々下賜相成るべく晝夜兼行にて謹製中の由であります

懸値言ふ癖

之れが無ければ日本商人も世界に耻ぢぬと日本品を註文に來た米商の談

約三週間日本各大都市を廻つて客商の影しき日本品を註文した紐育サムスターク、エンド、ヒルダー商會の二店員は曰く

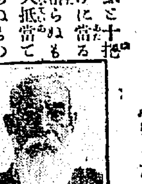
▲東京の製造家 關西のそれとを比較すると一般に關西は機敏である一例を擧げると大阪で或の品の見本を註文したら翌日直ぐ持つて來た、たとそれが ▲米國に適せぬ 品であつたゝめ更に意匠を授けて再製造を命じたら早速翌日持參した、それでも尚ほ不完全の點があるので二日限り三度目の改造を命じたら約の如く二日目には完全な見本品を作つて來たので直に ▲其品物を註文 した、之に反して東京横濱の製造家は斯くの如き機敏と熱心とを缺いで居た日本商人に接して先づ驚かされたのは機械力に因つて製造したものは値が高く手工品は却つて安い事であつたこれは全く米國とは ▲正反對の現象 だ又日本商人は一つ斬新なものを揃へると何時までもそれを固定して幾年經ても改造しやうとせぬ風習があるこれでは流行に遲れる殊に輸出品としては禁物である米國では少くとも四月目には其の ▲全體を變へず とも一部の變更を加へるのが通例である此の點に於て機敏な佛國が流行の中心となつて居るのは當然であらう要するに日本の製造家は大阪商人だけの機敏と熱心とがあつて常に變化をつくり ▲掛値を云ふ癖 さへ廢めたならば技術の點では歐洲のそれと比べても少しも遜色するところはないと思つたお世辭を拔にして今度の私達の來朝は極めて有意義であつた（大阪）



◆漫畫この頃 一ツ所を幾度もし廻つてへのへのもへじを描き廻きた水撒き醉人さ、塵埃溜めた撒く間やな塵埃職人とが行き合つた。兩方から怒た拝げて、水撒き『イヨー塵埃の間拔ア』塵埃や『何だ？ 貴様こそ徴税の撒き散らして命を貰つて居やがる癖に』水撒き『ヘン憚り乍ら俺の水は水道の水だい、頼まれたつて徴税なんか居れねやい。ヤーイ首筋にコレラが這つてらア』塵埃や『コレラだやらうか』とぬつと所謂猛行を延した。傍には福神餅脈が目を剥いて居た

永樂町測候所長の卜筮ぶり

當らない時は一日神妙に考へ込む



易と云ふと十中八九まで一と縮げに當るも八卦當らぬも八卦、大抵當て事に成らぬものとして居るが茲に不思議に當る老人易者が現はれた永樂町一丁目九番地に住んで居る ▼周易觀相 均陵庵主人小平嬬と云ふ老人一名永樂町測候所長と云はれて居るどう云ふ譯で永樂町測候所長と云ふ名が付いて居るかと云ふに此の老人毎日必ず翌日の天候を占つて百發百中、先づ失敗した例は少ない萬一天候の占ひが一寸でも狂ひを生じやうものなら老人直ちに表の看板を外づして一日外來の客を絶ち ▼齋戒沐浴 して如何なる誤りより占ひに過ひを生じたかと云ふ事を仔細に調べて一日掛らうが二日掛らうが飲食を絶つて研究すると云ふ熱心な遣り方であるから今日では全く天候の觀測にも誤りは無い殊に人の吉凶運命等は掌を指す如くに占ひ當てる病人を占つた事は曾て三千人位あるが其の快復期や臨終の日を誤つた事は五指を屈する程もないそうである關屋 ▼學務局長 が發病した際も下僚の某なる人が早速小平老人の處へ驅付けて局長が斯々の容體でどうも難かしいそうだから占つて呉れろと云ふので卦を立てゝ見ると發病後一週間ばかりの間に二回ばかりは危い事が有るが其後病勢一往一來しつゝも漸次快方に向ひ九月二十日には必ず全快すると斷言した處案の如く重態であつた局長の病氣は九月二十日に全快して小平 ▼老人にも 全快の謝狀が來た其の端書にも京城永樂町一丁目小平測候所長と書いてある、老人は元水戸の産で少年時代に四方の志を抱いて支那朝鮮に往來して居る内曾て支那の革命黨黄興の身の上を占て大いに其の信頼を受け黄興より卜筮正宗なる易書を得て苦心解讀三箇年を經て其技神に入つた譯である、老の ▼天候觀測 も其の區域は矢張り測候所の觀測と區域を同じくして居ると云ふが十月三日朝の觀測に由ると左の如くである

十月四日（甲戌午前〇時より午後十二時に至る）卦名、睽之困
天候、晴、朝夕陰霾、雨氣あり

仁川神社例祭延期

仁川神社例祭は例年の通り本月十日前夜祭より十一日公式祭並に神輿渡御式の神事を行ふ可く社務所を始め本年行事當番たる濱町花町敷島町桃山町柳町の第二組各委員は既に其準備に着手したるも惡疫流行の爲め本月は祭典執行上困難に就き一日總代會の協議を以て祭日を來る十一月三日四日の兩日に延期し立太子式の御盛儀奉祝に次で盛大に執行する事に決定したり

鐵路學校豫防注射

鐵路小學校にては三日午前中より全校生徒の虎疫豫防注射を施行し猶ほ高等普通學校、女子技藝學校生徒にも施行すべしと

◎鐵路職員會議 鐵路小學校にては二日午後より恒例職員會議を開催せり

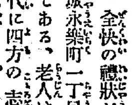
婦人界消息

△京口貞子（市城幼稚園主任）九月中旬以來病氣中のところ昨今快方に赴かれました

神社とお寺と敎會

○東本願寺（市山町）四日午後八時より信徒會歩報謝の說敎執行の由
○開教院（本町三）三日午後二時より觀水海にて婦人教會あり

だいどころ その日その日 くふう



△エクリヤクリーム 玉子と湯と牛乳に一合砂糖を泡立て其中に手早く麥粉四十匁程入れてかきまぜ火よりおろして玉子を一つゞつ四個まぜ込みラードの煮立つ中に杓子にてすくひ落して大きくふくらみてかるくなるまであげる其中にクレームをしぼり込みて出す（青木はつ子）

商況

東京株式特電

[illegible]

債券現物特電

[illegible]

公債直取引

[illegible]

深川在米特電

[illegible]

東京期米特電

[illegible]

大阪期米特電

[illegible]

下關期米特電

[illegible]

雜報

◎製粉は漸騰す [illegible]

◎九月中の生魚 [illegible]

◎洋釘は持合 [illegible]

岸本製釘により [illegible] 眼先の小變 [illegible]

◎セメント缺乏 [illegible]

◎生果類稍回復 [illegible]

◎空罐罐頭好況 [illegible]

◎約二三割方氣配 見直 [illegible]

下關相場

[illegible]

仁川米豆取引所仲買人

仲買店

支配人 土居勝
電話二八二番　四二八三番

[illegible]

京城正米

[illegible]

南大門の廻穀

[illegible]

仁川現物市場

[illegible]

釜山市場 二日

[illegible]

生魚市場

[illegible]

仁川期米

▲三日前場 [illegible]

大阪天候小雨前寄十四圓六十七錢 二十錢高の入電に節七十錢丁度と小 [illegible]

▲高き移り [illegible]

利 仲買店

仁川米豆取引所仲買人 [illegible]

市場雜聞

▲頭重く伸びす [illegible]

弱の歩調 忽ち形勢一變歟 [illegible]

三巴仲買店

仁川米豆取引所仲買人 [illegible]

▲前場の手振 [illegible]

▲（イ）能く賣る [illegible]

▲（ロ）能く賣る [illegible]

▲（ハ）全能く買ふ [illegible]

▲（ニ）能く買ふ [illegible]

▲鞘擴大す [illegible] 二圓八十四錢 [illegible]

▲中限頭重し [illegible]

反應に無理買 [illegible]

見送りに硬軍の一齊 [illegible]

▲豫想發表 [illegible] 三十七萬石 [illegible] 五千六百 [illegible]

▲豫想と人氣 [illegible] 萬石增 [illegible] 僅々六十餘 [illegible]

盛 極 [illegible] 反賣人氣旺 [illegible]

仁川米豆取引所

三日の十二月限 [illegible]

▲當株の成績 [illegible]

▲鐘紡も增資 [illegible]

北濱だより [illegible]

東京米穀商品取引所仲買人
相馬榮治
東京市日本橋區蠣殼町一丁目一番地
電話 浪花 長二四六〇 二四六一 二四六二 二三九九
登録電信略號（トウケイマタ） 營業案内送呈

◎マラリアに一番 ヨクキククスリハ マラリア特効丸
龍山林藥房製劑
◎金拾錢◎參拾錢五拾錢◎ニセモノアリ御注意
本舖 龍山 林藥房
代理店 京城本町一丁目 山岸天祐堂

月さらゑに日光!!!
△月經不順を…調ね
△月經不通を…通じ
△月經困難を…治す
△月やく滯りたる人直ぐ試み給へ
△實に能く効く…
[illegible]

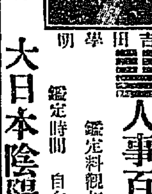
健康の鍵は 淺田飴
なんせき一切 よばき 人によし
本舖 東京 大阪 堀内

鹽 龍山製鹽所
[illegible]

外科 皮膚科 醫院 瀨戶
旭町二丁目（舊三丁目）
醫學士 瀨戶潔
診察夜九時まで
（電話二四九八番）

眼科專門
京城明治町東拓横（電話二〇四四番）
江頭眼科醫院
日曜祭日午後二時迄

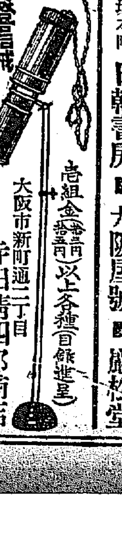
皮より強い値の安い
柳製專賣品鞄
△二枚續き毛布 △ふとんわた
△魔法瓶中瓶取替
長さ 二尺 二尺四寸 二尺二寸
鞄製造販賣 旅行用具一切
京城本町一丁目 高木旅行用具店 電話一一三四番


吉田學明
人事百般鑑定需應す
鑑定料觀相五十錢當用易斷壹圓
鑑定時間 自午前九時 至午後十時
京城本町三丁目
大日本陰陽學會朝鮮支部

內科 小兒科 入院隨意
京城明治町（元善隣學校隣）
中島醫院
院長 中島貞信
電話三七八番

メリヤスハ 毛布ヤ
京城 丸一綿部 電話一〇九一番

○開店と大勉強○
支那廣東料理 …人は特に廣東より呼寄せ
十月二日より開店仕候間何卒御引立の程願上候
出前は遠近に不拘早速御届け仕候
△廣東料理開店▽
宴會は一圓以上三十圓迄如何樣とも御用命に可應候尙玉突場の設備も有之候是非一度御遊の上來御試食願上候
京城長谷橋西北（貫鐵洞一四〇）
品芳樓


廣告用 地上寫幻燈器械
壹組金（吾拾圓）以上各種（目錄進呈）
大阪市新町通二丁目 寺田清四郎商店
電話西一四三二、一四三三番

鮮文 普通文官試驗提要
寸珍型洋裝紙數五百餘頁頗美本 定價七拾錢
大正三年四月を以て慶北大邱府の一隅に呱々の聲を揚げたる本書は端なく天下の耳目を聳動せしめ初版以來二十有餘箇月にして再三四版の數千部を…
道に志ざすもの皆尙且つ需用するは至る本書の內容を語るに外ならず今や更に第五版を了し一大增補して諸士の活躍を期しつゝあり
發行所 大邱府元町一丁目 振替京城六八八番 玉村書店
發賣所 京城本町 日韓書房 大阪屋號 巖松堂
販賣店全鮮書肆
大邱覆審法院 通譯官 勝付益吉氏校閱 通譯生 山之井諄治氏著 五版出來

[illegible]

宮本武藏

第百七十七回

桃川如燕口演　浪上義三郎速記

然る所城中に於ては天の四郎時貞を大將として蘆塚忠右衛門毛利宗意軒千々輪五郎左衛門、其外天草、軒山大矢野などゝいふ一人當千の豪傑一揆を勵まして防戰隙間なく、屢々寄手の同勢を破り、寛永十五年正月元日限代板倉內膳正重昌を討取り、其勢ひ破竹の如く今は此城、難攻不落と相見えました、然るに正月三日松平伊豆守信綱、戸田左門氏鐵の兩使、軍監榊原飛騨守、石谷十藏、牧野傳藏、林丹波を初め一同御到著に成り、板倉內膳正の討死を聞いて大に驚いたが致方がない开で本營に大名を集めて城攻の評定に及ぶ、然るに板倉內膳正の討死の趣き早打を以つて江戸へ注進いたしました

老中酒井讃岐守、阿部豐後守等の人々此注進を聞て大に驚き茲で又々將軍家の御前に於て評定を開らき、此上は中國の大名毛利、淺野に歸國を命じ、原山へ加勢に趣かせるより外に致方はあるまいと評議をいたしました、然るに水野日向守勝成此事を承はつてカラ〱と打笑らひ 勝「人數は已に十二萬四千に餘り、僅か四萬か五萬の一揆が立籠つたる原山を取巻いて落ちぬといふは意氣地のない話し、之れ畢竟軍師といふ者がなく、諸大名思ひ〱に戰をするからで失禮ではあるが老中方は开までお氣が付ない松平伊豆守は治世の人物、戰の駈引は板倉に遠く及ばね、此上三萬や五萬の人數を増したとて無益の話し、其れより一人の軍師をお遣しなさい、忽ちの中に落城をする、阿部豐後守が『然らば何人を遣はしたら宜しうござるか』勝『誰彼といはず此日向守が相勤めませう、拙者十六歲の時三州小豆坂の初陣より初めて東照神君御一代の合戰一度として御供いたさぬ所とてなく、元和元年大阪落城の時天王寺口を一番に攻破つて神君の御賞美を蒙つたは人々の知る所、軍の中から生れて軍の中で死ぬ軍老爺、何でも軍の事に就いて解らない事があつたら此老爺に聞けといひたい位今年八十二歲になるが未々二三十年は死なない積りで此日向守が乘込んで往きさへすれば掌を返す間に落城さして了ふ、何も御奉公であるから拙者が軍師を勸めませう、多寡の知れたる小城、十二萬人も頭を揃へて三月も懸つて落とす事が出來ないなんと什麼も今時の若い奴等にはイヤハヤ呆れたものでござる』と日向守相變らず憎まれ口を利いて居る、豐後守も尤もと思ひましたから此事を上申すると將軍家光公『成程日向ならば戰場の武功の老人、適當の軍師である、早速日向を彼地に遣すであらう』と茲で初めて日向守を御前に召し、軍師に命じるといふ御諚、お盃を下し置かれる、水野勝成畏まつてお盃を戴き、直ぐに下城して支度をいたし江戸表を發足いたしました、僅か四五人の供を連れた許りで至つて手輕なの、道中恙なく大阪へ著き、大阪から船で府內へ參りまして、府內から陸地を肥前島原へ到著いたしました、前以つて早打を以つて公儀より水野日向守軍師として下向いたすに依り、萬事勝成の指揮を受け、進退も致すべき由御沙汰がございましたから松平伊豆守、戸田左門を初め諸手の大名途中まで出迎へ城中へ案內いたしました、尤とも日向守が到著する前に度々合戰もございましたが長くなりますから總て大略します、二月置いて江戸表より日向守の子息美作守、二男出雲守美作守の嫡子伊織の人々五千六百餘人の同勢を率いて到著いたしましたに依つて伊豆守大に喜こび日向守の遠來を謝し猶其軍略を問ひ、軍評定を開きなどして居る、原山の城に於ては蘆塚忠右衞門、毛利宗意軒と共に櫓に上つて寄手の陣々を見渡して居りますと、フト目に入つたのは白地に流水に澤瀉の紋打たる旗人數五千人ばかりの一備、之れを見ると蘆塚忠右衞門大に打驚ろき 忠「流水に澤瀉の旗印は德川名代の水野日向守、戰へば勝ち攻むれば取り、金城鐵壁たりと雖も攻むるに陷ちざる事なしと聞く、日向守此所に乘込み來らば原山の沒落眼前ならん、天帝の武運今は早盡たるか」と天を仰いで歎息した。

皮膚科

皮膚病　黴毒病　淋病　膀胱病　生殖器病　機能障碍

入院隨意（診察夜九時迄）

日曜祭日午後二時迄

京城明治町二丁目（元一丁目）

佐藤醫院

（電話一一七三番）

◎進步せる化粧品　近來化學工業物類の[illegible]進步に向ひて化粧品の如きも其の進步顯る著しきものあり就中斯界の覇王を以て目せられつゝあるクラブ本舗中山太陽堂に於ては秀抜の技倆を有する多數の內外學者及び技術家を招聘して日夜研究に倦りなく同店發賣のクラブ洗粉の如きも[illegible]用して益々改良に改良を加へつゝあれば品質の優秀なること洗身料中第一を以て推され[illegible]高級石鹼よりも牛乳劑よりも勝る他の如何なる洗粉に比較するも數倍乃至十數倍の効力を有し常に之を使用すれば見違へる[illegible]日[illegible]に生地が美しくなるので今や日本名物として內地は云ふに及ばず海外各地にも盛んに[illegible]されて畏くも[illegible]御用品、各宮家御用品たるの光榮を拜するに至れるが殊にクラブ本店の營業方針として飽く迄も責任を重んじ[illegible]を旨とし彼の單に贋者の名許りを借り來る如き時代の仕掛けなる不眞面目なる商略を[illegible]の聯切を嫌ひて[illegible]一般公衆の[illegible]隨々手として昨斤しつゝあるより他に如何なる洗粉の現はるゝ事あるも到底クラブ洗粉の[illegible]信用に及ぶものなく一二度試驗的に他の洗粉を使用せる者も結局悉くクラブ黨となるの有様なるより近來內外各地共其の賣行は素晴らしき[illegible]にて流石に大規模なる同工場も連日徹夜[illegible]の作業に忙殺されつゝありとは盛んなりと謂ふべし

十月五日九紫　舊九月九日　乙亥

本命四綠　[illegible]　大安

●四綠● 調子外れの事有る日新事見合 北方は吉 ▲五黃● 片荷釣たる事有る日新事手控吉事は吉 貸借の口入等せぬがよし ▲六白● 平運の日午前不印午後は吉 新事手控鬪諍は妨なし ▲七赤● とんちんかんの事有る日新事手控新事は吉 女難落し物用心の事 ▲八白● 不快な事有る日新事手控離事は吉 女子は行儀を守らるべし ▲九紫● 學術の日 歸居開業入學名弘造船求職婚禮金談遠洋出漁等萬吉 ▲一白● めでたき日 轉居行商入學名弘上求職金件婚禮養子女を定る導滿吉 ▲二黑● せわ事の日 狼狽な事かんとす 新事手控養事旅行は妨なし ▲三碧● 福祿增進の日 轉居旅行入學名弘建築求職婚禮金融藥等萬吉

流經新藥 **レスノリン**

月經流經

閉止經過四五ヶ月以內ニ應用シ目的ヲ確達シ其作用ノ確實ナルコト他藥ニ優越ス◎藥價一瓶一圓送料數內地十二錢海外卅錢切手代用一割增 說明書ハ郵券添申越次第進呈 振替大阪三六八六番 大阪北區[illegible]上一丁目三六番地

發行所 **常盤藥院**

衛生必携品 **ルーデサック**

A十個四十錢 B十個六十錢 廿五錢 女用一個八十錢 變形一個 郵券代用一割增 廿個以上一割引 引換は送料外に要す

京城黃金町三丁目 振替京城三二七番

山田文殊堂藥房

山田醫院 本町二丁目四十五 電話二八八〇番

內科　小兒科　花柳病　眼科

呼吸器病專門　胃腸病　**山田萬作**

（入院隨時）　**尾形周太郎**

るいれき病にて

永年苦しむ方も手術せず大なるを縮め消散せしめ體外に出さずに[illegible]良劑あり

封入二十三錢

ルイレキに詳報す東京芝高輪北町 救生堂

新荷著 スイス製懷中時計

機械堅牢安全にして正確なる事保證[illegible]而かも實用的にして價格の低廉なる事天下無比

十七形 ニッケル（兩蓋）四圓五十錢　同 フジユーム日曜　十八形 同　十一形 銀側　十九形 金側　十六形 ニッケル 彫刻（兩蓋）　十一形 銀側 水色　十九形 金バリ（十年保險）　十八形 同（同）　同 同（同）　十二形 ニッケル側時計　十三形 同　同 同　同 フジユーム入　同 銀側　アメリカ製十四金ペン付萬年筆　[illegible]

右は今回新著の商品にて本商會の[illegible]他店に無き所のもの併して[illegible]地方の御注文には[illegible]代金引換小包郵便にて御送附申上候

時計、蓄音器、ミシン機械、自轉車、洋酒、各國貨直輸入商

本店 京城本町二丁目 電話九七二番

イングレツシー商會

寫眞

寫眞出張撮影 寫眞銅版、亞鉛凸版

最も熟練せる技術を以て迅速と叮嚀親切を旨とし御高需に應候

京城日報社 寫眞製版部

學理と、實際とを結びつけて、

齒口の衛生に適した齒磨は

ライオン齒磨ばかり！

他の齒磨にはこの特色を見出す事が出來ません。是れがライオン齒磨と他の齒磨との違ふ點です。

ライオン齒磨 ライオン石鹼 本舖 小林富次郎

新築營業所 東京本所區外手町

（205–5）

內科　小兒科

京城日出小學校前

入院隨意

多々見醫院

電話九四〇番

齒科診療

仁川山手町穴門通

東京齒科醫學士 **飯塚喜四郎**

電話三五〇番

第二十六回新學期

何人も中學校に入らずして容易に中學校卒業同樣の學力を得る懇切無比の中學講義錄を看よ

大日本國民中學會

本會は設立最も早くして基礎鞏固なる中學科の完全なる通信學校にして模範的獨習機關なり

□講義見本つき規則無料進呈□

名譽會長　正三位　尾崎行雄

學監　文學博士　遠藤隆吉　理學博士　山內繁雄

學事　文學博士　三宅雄二郎　法學博士　浮田和民　正四位　岡田良平

顧問　法學博士　和田垣謙三　農學博士　新渡戸稻造

第二十六回新學期開講講義錄大改良記念として此際至急入會者には入會金全免參考書進呈會費免除等の大特典の外に獎學金を贈呈す至急申込あれ

東京神田駿河臺 電話本局三〇〇二番三〇〇四番三〇〇七番

大日本國民中學會

汽車

[illegible]

京城日報

京城日報

[stained]鐵道局、並に南滿洲鐵道會社の當局者間の相識づくにて解決する能はずして、今や中樞政務機關の頭腦を煩はし、尙更に滿洲と朝鮮との民心を衝動して、大袈裟なる政治的社會的重大問題となり來り、同胞鬩ぐの實狀を見て心竊かに悲しまずんばあらず。

三線問題の如き、其の性質より見るも、要するに鐵道の運賃政策上の問題に過ぎずして、一地方の死活に關する重大問題なりとは、今日未だ之を認むるを得ず、之が解決の如きは當然關係鐵道當路者の協議を以て、如何樣なりとも執るべき方法は之れ有りしなり。然るを然らずして問題を誇大にし、地方人心を熱狂せしめ[stained]をして政爭の具に供するに[stained]らしめたるもの、其の責め果して何人に歸すべきや。

此の問題は、如何なる形式を以て解決せらるゝにせよ、其の歸すべき途は一なり。帝國の勢力が外に向つて伸暢するには、自から順路あり、常徑あり。朝鮮を基礎として大陸の發展を期すべしとは、吾人の我田引水論に非ずして、我が殖民政策上の根本方針たり。此の大勢に順應して總ての大陸的施設經營は方に策せらるべき也。今日滿洲に於て、滿鐵經營の策源地たり中心たるものは大連にして、滿鐵は之が唯一の動力たりと見做す者なきに非ざれども、滿鐵が絕對の權威を振ひ得たるは過去の事にして、今日の時世は滿鐵萬能の時代に非ず、滿鐵自身と雖も、其の能力は昔日の如く排他的なるを許さゞるの事情を承知せる筈也。吾人滿洲に行きて、先づ何よりも甚だしく不快に感ずるは、滿鐵の專橫と滿洲在留民の滿鐵に對する依賴心の強きにあり。吾人をして滿鐵王國の叫びを禁せざらしむるは必ずしも色眼鏡を以て之を見るが故に非ざる也。滿蒙の開發は滿洲在留邦人の力を以てのみ之を期待する能はず、滿鐵會社の經營のみを以て之を期待する能はず。質に我大和民族の向上發展的精神氣力を以て之を期成すべきものにして、大陸の經營は先住者の特權のみに屬すと思ふは己惚れも亦た太だしと謂はざる可らず。今日大連方面の有力者が懷抱する如き正見の重要視せらるゝ間は、滿洲に於ける我が經濟的發展は、其の將來甚だ心細しと謂はざるを得ず。斯くの如き鐵道の運賃問題にさへ、爭議を生ずる樣にては、國力の發展は甚だ覺束なし、殖民政策の統一、大陸政策の確定は今日何よりも急を要す。若しも此れが統一し確定したらんには現下の鐵道問題の如き斯くまで紛糾を見る筈なし。其の紛糾する處に政策の矛盾を見、不自然を見る。

穀類貯藏中の害蟲驅除法(一)

技手 農學士 村田康太郎

本研究　穀類貯藏中に發生する害蟲驅除に關する新研究にして本月十七日朝鮮農學會席上に於て發表せられたるものなり一般農業家穀類營業者の爲め多大の參考となるべきを以て之れを揭ぐ

私は最近必要に迫られて穀類中に發生したる有害蟲に就て其の驅除法を研究した。

元來穀類は貯藏中には屢々害蟲の犯す所となり甚大の損害を受くる場合甚だ多く、啻に搗精時の減耗量增加するのみならず、品質甚しく劣等となり價格低落し當業者の甚だ苦痛とする所である。加之一度害蟲の發生したる時其の驅除法宜しきを得ざれば倉庫雜其至る所に產卵して、年々慘害を逞ふするの狀況となる。殊に朝鮮に在りては當局者の獎勵と指導とに依り逐年產額增加し品質向上して今や生產品中の主要なるものとなつて居る。然し乍ら因襲の久しき今尙取り入れ方法等舊式にして當を得ざるものあるが、米質中水分の含量內地米に比する時は多量にして害虫の發生特に容易なるの觀あり。加ふるに多年驅除法等の實施せられざりし舊韓國時代の害虫卵は其の根底中々深くして容易に取り去る事が出來ない。從つて害虫の發生は之を內地に比して甚だ多大なるの狀況にある。米質中水分の含量は之れを內地に比して多量なる爲め米質の品位に及ぼす影響微害の程度衞生上の關係等に就ては、目下精密に試驗中であるから他日報告する機會があると信ずる

害虫も亦多數にして各發生の時期を異にし其の發育狀况被害の模樣等一定しないが、就中屢々發生し驅除困難なるゝのは穀象と稱する害虫である。此虫は甲皮を有する六脚虫で從つて外來の害物に抵抗する力強く、甚しき時は彼の瓦斯擦精米器を通過するも尙且生活を續けあるもの、如く、驅除甚だ困難なるものである。

從來害虫驅除法としては主として硫化炭素を使用して居るが、硫化炭素は其の効力甚だ不確實であり、元來液體であるから揮發するには器械的の方法を用ひ、倉庫等へ吹込むのであるが、揮發性とは云へ其の性瓦斯體に比して微弱であつて俵又は叺中部へ滲透する力弱く、且一度揮發する時は永く惡臭を殘し之れを取り去るに通氣暇十等多大の勞力を要し、且つ甚だ多量を用ひるにあらざれば的確なる奏効を期する事が出來ない利益を計算する實業家等に取つては甚だ不利益なる方法である。

又硫化炭素を俵又は叺中へ注射器を以て注入する方法があるが之方法による時は蒸發後の殘滓は全部米粒表面に殘る元來硫化炭素は『レーズンクミッテル』であつて各種の物質を溶存して居るから注射法を行ふ場合には必ず品質の檢査を行ふて溶存する物質が人類の口腹に入ても無害なる事を確めざれば甚しき危險を伴ふものである、且溶存物の多き場合はこれを精製するの必要を生じ甚しき不經濟となるのである。

朝鮮の古城郭(七)

八木奘三郎

(二) 城郭の位置

(承前)此說神話に似たるも、內容は當時の實に叶ふ所ありしなる可く、而して文中城郭の語なけれども、其都市に城を築きしことは他の點よりも推定し得可く、其地が已に迦葉原と云へば平坦なりしことは疑なし同書に又曰く。

朱蒙至卒本川に至り(註魏書に云く紇升骨城に至る)其土壤肥美、山河險固なるを觀て、遂に之に都せんと欲す、而して未だ宮室を作るに遑あらず。

四年秋七月、城郭宮室を營作す。

此文細微の點を知る可からざるも、土壤肥美とあれば其平浩の地たりしことを推し得可く、又山河險固とあるは四方の形勢を指すに似たれば、都城は高山の巔にはあらざる可し、何となれば山城の場合は本書の書振りとして何々山と記すればなり。例せば百濟本紀溫祚の條に。

八年秋七月、馬首城、堅瓶山の柵を築く。

とあり、又其十三年の條に。

秋七月、漢山の下に就て柵を立て慰禮城の民戶を移す。

とあり、斯く山地若くは其近くに城郭を築く場合は、山名を記するによりて如何なる位置を選定せしかを知り得ると同時に、然らざる箇所は之を錄せず、故に前揭朱蒙の都城、或は後に曰んとする溫祚の慰禮城等は決して山城にあらず、共に平曠の地若くは山麓に近き邊なりと見て不可なかる可し。

已に古書の記する所は右の如く或は平地、或は山岳の麓あれども、斯る位置の選定は何等の理由に基きしか又古くより險夷共に用ひしにも拘はらず、後年次第に山城を多く造りしは何故なりや、是等の點は本節に於て其凡てを記する遑なければ、更に後段に至りて再叙することとす可し。(此項完)

大阪より

▲火災保險界本年度の營業成績は協定問題等により各社間の競爭稍衰へ大體に於て各社の營業基礎確定せる爲め競爭による損失を減じ一面事業界の活況に付て加入數多く從て前期に比し總じて二割內外の增收を見るべき形勢なれば各社は幾分か增配を見るべし

▲近來我銀行中上海に支店設置を計畫せるもの朝鮮、三井、住友の三行初め安田系の正隆銀行等少なからず之に既に上海に支店出張所を有する正金、臺灣兩銀行並に今期議會に提出さるべき日支銀行を加へれば一層の多數に上るべし、外國銀行の例を見れば香港上海銀行は四千兩以上の銀準備を抱きて上海に勢力を振ひ居れり、獨國の如きは嚮に十六個の銀行共同出資して獨亞銀行を設立し互に支那に於て獨逸內地銀行の競爭するの弊を避けたり、此點は大に研究を要す

▲露國政府は最近閣議にて贅澤品の輸入を絕對に禁止する事に決したりとの報あり、其品目は不明なれど浦鹽への輸入貨物贅澤品と認定さるべき懸念ある貨物は此際積出を見合せ居れり

▲最近調查によれば大阪市中の現在米は內國米二十萬二千八百二十二石(中白米千二百九十七石)にて中旬より更に三萬九千四百三十一石を、朝鮮米は一萬千六百四十五石(內白米三百五十五石)にて同四千七百十三石を、支那米は四百十二石にて同百七十二石を臺灣米は三十二石にて同五十八石を各減少せり

▲大日本麥酒、帝國麥酒商戰は九州を中心として北支那方面に渉り本春以來激烈を極め是が爲め本年兩社の經費は意外に嵩み前期に比し帝國は四割二分方大日本は三割三分方各々支出額を增加せるが季節の關係上目下兩社の麥酒戰は一段落を告げたるの觀あるも兩社共自社の地盤維持に汲々たるものありて大日本は今般買收せる青島ビール會社の設備完成及び博多工場の新設準備に多忙なり(大阪にて靑鉾生)

日報詩壇

○遊龍山八景園　安東　黎雲
帆影點々水雲寬。何忍風光醉後看。紫藤花落新樹綠。衣襟欲染夏猶寒。
樓頭有客酒中仙。自擬長鯨吸百川。好句[illegible]
評曰　前詩魔後詩第三句殊覺珍奇
○秋日偶成次川端不絕入韻　[illegible]
戈不動國家寧。[illegible]
評曰　深情可喜
○登　高　高井　椿堂
氣入秋山欲暮時。[illegible]
評曰　[illegible]
○同　上　木田　芳洲
[illegible]
評曰　[illegible]

日報歌壇

廣州　栗島　儷
夕燒けの雲見てあれば朝鮮の樂隊どもが銅鑼うちてゆく

京城　岸木の人
何にかなしにまさぐる頰に肘伸びぬ灯ともし頃を軒に佇み

京城　本間　素月
李明花は十四の少女瞳よしその黑髮のなつかしき香よ

大邱　遊　美子
故もなく淚ぐむ日の續くかな貧しき故か秋來し故か

長　城
何にとなく胸うちどよみこし方の罪こと〴〵く數へらるゝ日

(海雲臺にて)
櫻貝七八つばかり散らばりぬ濃靑の波の退きたる跡に
對馬見ゆ晴れたる海のおちかたに對馬を見つゝ潮浴びすも

京城府

工事請負公告

一 龍山停車場前外二十二箇所 砂利採取工事
此入札保證金は各自入札金高の百分の五以上
入札者は京城府內に於て國稅地方費學校組合費年額二十圓以上納むる者にして二年以上斯業に從事する者に限る
入札は大正五年六月六日京城府條例第二號に依り大正五年十月六日午前十一時仕樣及仕譯書等熟覽の上十月六日午前十時開札す
右に就き希望の向は本府會計係に照會すべし
此契約は朝鮮總督府京城府尹金谷充擔當す

大正五年九月三十日　京城府

京城學校組合告示第十二號

大正五年度京城學校組合歲入出追加更正豫算京城學校組合會ノ議決ヲ經タリ其要領左ノ如シ

大正五年十月三日　朝鮮總督府京城府尹　金谷充

大正五年度京城學校組合歲入出追加更正豫算

歲入臨時部

第一款　繰越金　追加　金一萬九千二百十三圓
第一項　前年度繰越金　追加　金一萬九千二百十三圓
第三款　補助金　追加　金二萬五千圓
第一項　國庫補助金　追加　金二萬五千圓
計　金六萬千九百二圓(?)
歲入合計

歲出經常部　金二十七萬七千八百二十二圓
第八款　基本財產造成費　追加　金千圓
第三項　教育基本財產編入金　追加　金千圓
計　金十九萬四千五百七十五圓

歲出臨時部
第一款　小學校費　追加　金四萬三千二百十三圓
第三項　小學校新築費　追加　金二萬二千二百十三圓
第六項　設備費　追加　金二千圓
計　金八萬三千二百四十七圓
歲出合計　金二十七萬七千八百二十二圓

第十二款　豫備費　更正　金二千九百四十二圓
第一款　臨時部　小學校費　更正　金五萬八千七十三圓
第六項　更正　金四萬三千四百六十一圓　西大門小學校手工室新築費
第七項　更正　金千七百五十二圓
計　金八萬七千二百四十七圓
歲入出合計　金二十七萬七千八百二十二圓
歲入出差引殘金ナシ

明治公債株式會社　社員募集
京城黃金町　朝鮮支部
釜山幸町　朝鮮外事部
同　所　釜山出張所
太田榮町　太田出張所
群山隅町　群山出張所
清津敷島町　清津出張所
平壤本町　平壤出張所
元山仲町　元山出張所
大邱三笠町　大邱出張所
木浦大成洞　木浦派出所
咸興大和町　咸興派出所

正氣堂名刺舖
期日正確　送料無料　京城本町二
電話二一九五番　振替京城一二八三番

琴古流　尺八樂譜解說　郵税二錢
尺八樂譜　目錄希望者は要郵稅二錢
東京小石川區大和町　尺八敎授　水野呂童

一日二十石安樂　一人にて
磐田式　穀摺機
詳細なる構造及說明書は申込次第急送
各地に特約店募集◎種々便法を與ふ
現品は二階の名告長期貸附◎製造賣供
十一本一の稻扳齒與細　旅費及『貸附』
製造元◎大阪築港五條通二　藤田商店

勞力を節減す　農家の武器

簿記生徒募集　短期卒業
卒業後は銀行會社商店等へ確實に就職紹介す　規則書要二錢
京城明治町二丁目　京城簿記專修學館

履物問屋
井商田屋號
大路本店
大阪市御堂筋北久太郎町
電東百十九番　振大阪四一八八
御一報次第相場表御送付可仕
大阪履物新進會へ毎月ヶ日
一回定送付ノ特約可致候

當銀行ハ預金、貸金、爲替等ノ一般銀行業務ヲ確實親切に取扱申候
資本金　參百萬圓　明治三十八年設立
京城府南大門通一丁目十四番地
株式會社　漢城銀行
電話　長二六四六番　二三九番　振替京城二一〇五　一八六二番
支店所在地　水原、平壤、大田、開城
出張所所在地　南大門、鍾路、東幕

元醫科大學看護婦長　東京看護婦會長　大關和子著(最新刊)
家庭看病法
◎四六判クロース上製◎正價八十錢◎送料八錢
病家の福音◎看護婦泣かせの名著
本書は看護婦界の元勳たる著者が多年の實驗に基き豐富なる智識を備へ最新の衞生學に準據したる周到なる用意を以て凡そ家庭に適切なる看病方の全般を網羅し實地を主とし發病の兆候より汎く家庭向きの事柄より呼吸の測定法◎食物調理方の仕方、看病上必要な弊に至るまで病患者介抱の消毒法に陷る事項を一切述べ細大洩らさず詳述せり
發行　東京神田南神保町三　振替東京一九二三　日進堂(大阪市)

日韓書房
新版報告
小栗風葉著　靑春　定價一圓三十錢　送料十二錢
長田幹彥作　紅夢集　定價九十五錢　送料十錢
谷崎潤一郎著　刺靑　定價一圓　送料十錢
桑木嚴翼著　哲學五流辨及其他　定價一圓三十錢　送料十錢
澁澤男爵述　論語と算盤　定價一圓　送料十錢
京城本町二丁目　電話一四五　振替口座一一五

朝鮮公論
十月號　口繪五頁
◆堂々三十頁◆
九月號は例月よりも多數增刷を爲したるに拘らず八日には全部賣切となり殊に申込に對しお斷りを爲したる御申込は八日以後は多數一應の御申込に最も遺憾なりし一部に應ずることは能はざりし事也茲に御詫びを述ぶ
▲我輩の半生(永井柳太郎)▲新人舊人(匪名論者)▲朝鮮田地▲國境の月を仰いで(讀者論壇)▲丟くらべ(お秀、京奴、吉太)
ヒステリーの症狀と其治療法…博士　森安
咸南鑛業の新機運…神林庸太郎
總督及都督の任用資格擴張を論ず…朝鮮公論社長　牧山耕藏
日支兵衞突善後策…[illegible]
重役道德と使用人…犬養木堂
腐敗せる朝鮮鐵道局(二)
▲我社前號に於て初めて朝鮮鐵道局革新の第一弊を舉げ今や百鐘を亂打するが如き反響裡に再び嚴正峻烈なる第二弊を舉ぐ。見よ眼中國家なく
▲公議なき大屋長官以下鐵道幹部の暴狀は或は惡むべき皇族不敬事件或は第二國用金分配事件等續々として眼前に曝露し來る
鮮鐵不正事件と共責任…法學博士　水野錬太郎
隈閣の態度を難ず…仲小路廉
小日本より大日本へ…早大教授　永井柳太郎
鮮滿明治大學閥…泰山樵客
朝鮮鐵道解剖に對する世論
▲台水送別俳莚(青木靜軒)▲西鮮の旅より▲京城新町女紅場▲壽室の人
五龍背の三日間…讀耕雨樓
久原製錬所を觀る…牧山社長
米の南鮮視察記…久次米技師
滿洲見聞記(四)…泰山樵客
人物月旦　秋山好古論…有馬易水
鮮銀の海外調査員人撰…三島理事
成算歷然たる新事業…今津技師
當世四大天狗傳…欣堂散史
鑛業界…(鑛業家其他一般事業家必讀の最近鑛業調查資料)
△強者の光榮　△編輯局より　△公論餘滴　△讀者の聲　△奇談逸話　△平壤の秋　△公論文壇　△藝妓番附
定價一冊二十五錢六冊前金一圓四十五錢十二冊二圓八十錢郵稅一冊一錢臺灣支那滿洲內地五錢　朝鮮各地書店に在り
購讀申込所　京城太平通二丁目　朝鮮公論社　電話(長)二四〇〇番　振替口座京城一五七〇番

四日朝刊　タ刊と合せて二十頁
發行所　京城太平通一丁目　合資會社　京城日報社
發行兼編輯人　奥田直毅
印刷人　小川三之介

日本郵船　當限米株　東京新株　大阪株式　大阪米(三日)

▲依然保合　天候穀で晴天大阪入電は更に强硬を報じたる[illegible]

▲市場氣乘り薄　大阪の成行は主務省の第二[illegible]

▲現物界　群山玄米十三圓[illegible]

十一月限　十二月限　十萬六千六百五十石　一萬二千四百五十石

◎後繼に加藤子を奏薦 愈々四日參內辭表捧呈

既電の如く大隈首相は四日午前九時參內老齡職に堪へざる旨を奏上し骸骨を乞ひ次いで後繼者に加藤高明子を奏薦し直に退出更めて閣議を開き閣員全部の辭表を取纏め再び參內辭表捧呈の順序に出づ可しと(東京特電)

◎先決問題奈何 公侯會見中の重要問答 山縣公曩きの未了問題を質す

一日早稻田首相邸に於ける山縣公大隈首相の會見模樣は當時所報の如くなるが當日公侯會見中重要なる對談の聞き漏れたるもの少なからず且つ之れが對話は將來時局解決の上に重大なる關係を有すべきものなるを以て爰に遺漏の點を記述す可し當日山縣公は首相より辭職の決心並に後繼者に關し一通りの陳述を聽取したる後公は之れに對し『實は閣下が去る六月辭意を內奏し同時に寺內伯を奏薦したる際陛下より松方侯及び予に對して御下問を給はり予等兩人亦意見を伏奏したることは閣下の既に知らるゝ所にして而も其の結果は未だ解決せられざるなり、當時予は閣下及び寺內伯の間に立ちて助言を爲したるも不幸兩者の意見合致せず終に不調に歸したり、されば陛下は陛下日光行幸中暫く其の顛末を伏奏せられ、寺內伯亦參內伏奏したる際陛下には畏くも還幸を待つ可き旨御沙汰ありたるやに承はる、右の行掛りよりして予等二人並に寺內伯と雲上との間には此問題に就て尙ほ未解決の儘にあるは言ふ迄もなし之れを解決せずして後繼者の詮衡に移るは筋の立ちたるものに非ず予は此解決を先決問題と信ず高見如何』と質したるに侯は一々首肯し全く貴意の通りなりと答へたり(東京特電)

◎同志幹部會 今後の打合せ

三日午前十一時より麴町下二番町の加藤同志會總理邸に於て同志會最高幹部會開會若槻、安達、濱口、島田、阪口、片岡等の諸氏參列加藤總理より大隈侯との會見顛末を詳述し今後政局の變轉に就いて打合する所ありたり(東京特電)

諸星來往

▲松侯參內 勅問に奉答す

松方侯は三日午後一時自動車にて參內御座所に於て拜謁仰付けられ天機奉伺後勅問に奉答する所あり御前拜辭後皇后陛下の御機嫌を奉伺して退出せり(東京特電)

▲松侯山公訪問

松方侯は宮中退出後直に山縣公を目白の椿山莊に訪ひ會談一時間餘にして三時十分辭去せり(東京特電)

▲陸相次長訪問

參謀次長田中義一中將は三日午後四時山縣公を椿山莊に訪問したるが間も無く大島陸相も來訪せり(東京特電)

▲侯子密談 善後策に就て

加藤高明子は三日午前八時早稻田に大隈首相を訪問し數刻密談を重ねたるが其の際首相より辭職の決心及び過日來元老と會見の顛末を述べ尙善後策に就て熟議したるものゝ如し(東京特電)

◎青木中將傭聘契約 二日北京ガゼット發表

靑木中將傭聘の契約全文は二日北京ガゼットに發表されたるが其大要は左の如し(北京特電)

(一)總統府軍事顧問の年限は二箇年とす(二)職務は總統の諮詢に應ずる事但し支那の軍事秘密に關しては支那の法令を遵守する事(三)俸給は日本金にて一箇年三萬五千圓補助員翻譯員の給料及び諸雜費として別に五千圓支給するものとす(四)契約は漢文にて二通中一通は中將に一通は總統府に留め置く事

◎ソンム第一期戰終了 是より一大發展を見ん

在佛國英軍司令官ヘーグ將軍はチープバール及びコンブルを占領して此所にソンム戰場に於ける第一期戰を終了したり右の兩地點はアンクレ河上流一面の平原を俯瞰する山の脊の兩端に位し此平原は起伏擬々として遙にバポームに達す前週の始めに英軍はチープバールの南方よりイレリーの南方に向つて一線を前進するに過ぎざりしが英佛軍の努力は爾來漸々成功し漸次戰線を前進せしめ遂にチープバール及びコンブル等の要地を掌中に收めてソンム全線の戰鬪に一期間を劃するに至り前週中の作戰行動は堅壕戰城塞防禦戰に移りたるを示し英佛軍は是より益々活躍して戰況に一大發展を與へんとす=一日倫敦發英國大使館著電=(東京特電)

◎明年移民如何

大正六年に募集すべき東拓第十一回移民は會社にて既に收容地の各道割當其他の準備を進め其の戶數も本年同樣一千五百戶とすべき豫定の由なれど唯今期議會に於ける東拓補給金卅萬圓問題の可否未定にて目下の所募集に關する最後の決定をなすに至らざる由なるが若し補給金交附案議會に於て否決さるれば會社は止むなく移民の募集を全廢するか少なくも其の戶數の大減少をなすに至るべしと

◎竹丸と浦鹽航路

朝鮮郵船會社にては門司棧橋通り巳組所有汽船竹丸(千百二十噸)を傭入れ十月一日より浦鹽新航路を開始することに決定し居りし事は既報の如きが同船は木浦門司電報の報ずる如く九月下旬伊萬里を發し門司に航行の途中行衞不明となりしに付朝鮮にては同船の所在判明する迄其の借入れを延期し從つて浦鹽航路の開始又遲るべきも萬一同船沈沒等の厄に遭ひ居る場合は他方面より取急ぎ一隻を傭入れ何れにしても浦鹽一航路の增設をなす筈なりと

◎慶北陸棉不良

慶北道に於ける陸地棉は氣候の關係上概して成育不良豫期の成績を得る能はず慶北道廳第四回九月廿四五日の調査によるに淸北郡は降雨の爲め芽を生ずる事多くして開絮遲延し成育分不良未だ結實せざるものもあり成育不揃なるが結實は平均一本三箇宛の見込み又慶山郡の如きも成育良好ならず結實一本二箇乃至三箇に過ぎずと因みに在來棉に比しては多少の利益あるも一層當局の努力を要せざる可らずと

◎地方經濟狀況(四) 忠淸南道瑞山郡地方 仁川商業會議所調査

▲稻作 移秧期に際し雨量過多なりし爲め例年稻付不可能なりし山間及び高燥は其の植付容易なりしも一般畓に於ては降雨過多に過ぎたる結果稻粹への係係なきに至らしめ爲めに生育を阻害されたるの感ありしが其後の天候順調にして生育好良ならんとせる折柄八月中旬に入りての雨量又復多きに失し水稻に於て幾分生育を障げられたり然しながら如上の被害は單に一小部分に過ぎずして大體の作柄良好なり要するに本年は降雨潤澤なりしため陸稻の植付反別及び土地調査に依る一般耕地面積の擴大と相俟つて其の收穫豫想高は昨年に比し四割弱の著しき增加を示し爾後天候の激變せざる限り如上の增收を見るは大差なかるべし

▲大豆(豆類) 播種期の降雨多量にして全然播種作業不能に歸したるため作柄として見るべきものなし結實期に於ける週日の降雨の爲め顆實の生育を阻害せられ收穫高の如きは昨年に比し六割強の減收なりと豫想せらる

▲麥類 播種當時に於ては天候順調にして生育良好なりしが開花期に於て降雨多なりし爲め其の降雨に會せると依り收穫高に至つては作付反別の增加せざるに不拘著しく減少し大麥に於て四割小麥に於て七割減の異例を示せり

▲雜穀類 各種共播種後に於ける降雨過多なりしため大豆、麥類と等しく生育頗る不良にして甚だしきに至つては收穫絕無てふ悲況を示せる爲不作の聲到る所に起り雜穀類作柄殆ど悲觀と云ふの外なし

▲重要穀類集散狀態及現今相場 本郡は瑞泰安、海美、瑞山の三郡を併合したるものにして其の廣袤大にして耕地面積の廣大なる實に忠南道中に冠たり而して東部を除くの外西南北三方共に黃海に面し舟楫の便に乏しからず即ち其の主なる港島、安興、安眠島とす如上の如く多數の港津を有するが故に穀類の搬出容易にして瑞山邑及び西部のものは安興より何れも朝鮮郵船便に依り仁川へ又た南部及び安眠島一帶並に海美以南のものは安眠島より群山に向け何れも搬出せらる然るに本郡は東部、禮山、洪城の兩郡に接する所山岳重疊して搬出の便を與へざるため穀物の僅かに他郡を經由して仕向けらるゝの外穀類の隣郡より集まるもの記するに足らず而して目下行はれつゝある主要穀類の相場を擧ぐれば左の如し

白米	一石に付一三圓五〇錢	玄米	一石に付一二、五〇錢
籾	同 五、三〇	大豆	同 七、〇〇
小麥	同 八、一〇	大麥	同 七、〇〇
小麥	同 七、五〇		

▲主要物資集散狀態及現今相場 如上の如く三方海に面し大小多數の港津を有するが故に物資移入容易ならしめ居る隣郡との交通上位置郡々西端に遍せる爲め移入貨物搬出にては僅かに郡內の配給に充つる外隣郡の取引比較的少く只だ北隣唐津郡の一小部分に對し少量の雜貨供給を爲すに過ぎ謂所獨立の貿易狀態を呈せり而して輸移入の經路は前述穀物搬出同樣を通るの外唐津郡保寧より一部雜貨の搬入せらるゝを見るも尤も之等總て物資は殆んど仁川よりの供給を仰ぎ群山より廻送するものは全部に對する一割五分に過ぎず

▲金融及經濟概況 本郡目下の金融も敢て閑散と云ふに非らざるも何分內地商人の少數なると支那商人の資金豐富なるに加へ今春以來米價の下落に伴ひ中產以下に於ける購買力の減退は少なからず仕入れの手控へを爲せる爲め鮮人側の資金需要に起らず僅かに農民間に於て農事、賄牛、及び商業決濟に要する少額資金の需要ありしに止まれり而して之等に要する資金の多くは金融組合に依るもの如しと雖然しながら前述の如く今春來經濟界の不振に伴ふ購買力の減殺せらるゝと共に急を要するものにありては勞賃個人の金貸業者に依て一時之を補足して居れるも利率頗る高く細民の到底負擔に堪へ得べくもあらざるを以て近年此種に依るものの減じつゝあり然るに內地人商人の仕入品決濟等に要する機關なき爲め延取引の期間內に於て郵便爲替又は振替口座等に依り金融迭安の便に供へつゝあり

◎土地調査々定公示 臨時

臨時土地調査局にては左記各道各郡の土地所有者及び其疆界を各郡廳に備へ付け十月一日より三十一日迄一般の縱覽に供する土地調査簿及地籍圖通り査定せしに付其の査定に不服ある者は公示期間滿了後六十日以內に高等土地調査委員會に申立つべしと

全北益山郡、全南麗水郡、光州郡、求禮郡、光陽郡、和順郡、慶南〃海郡、平南中和郡

◎成鏡線一部營業 成鏡線

成鏡線淸津會寧間の內淸津蒼坪間三十二哩餘の工事は既に竣成したるを以て來る十一月初旬より運輸營業開始の豫定にて鐵道局にては夫々準備中なり因に右營業開始に付て鐵道局にては別に開通式を擧行せざるも地方官民の主なるものに對し試乘の案內を發する由

◎烏致院果樹移出 南鮮一

南鮮一般に果實生產は降雨及び害蟲等の爲め豫想の如く生產を見ざるのみならず品質又例年の如く良好ならざるが烏致院にては一日二噸平均に各地に向け移出しつゝあり就中弘益農產會社よりは京城、平壤、安東縣、大田等其他各地に移出し居れりと

◎虎疫と輸入禁止 生魚介

生魚介類、海鹽魚介類、菜蔬類等は虎疫豫防の爲め朝鮮(全道)方面(內地より通過を含む)より浦潮に輸入を禁止されたるが又生果類及び菜蔬類以下の蔬菜類は當該官廳に於て嚴重なる消毒を施したる上に非ざれば輸入することを得ざることゝなりたり右は託送手荷物品に對しても亦同じ

◎朝鮮醫術開業試驗 朝鮮

醫術開業試驗は來る十八日より總督府醫院構內醫學專門學校に於て擧行さるべく受驗出願者は內地人十四人鮮人四人合計十八人にして試驗日割等は兩三日中に決定發表さるべし

湖南遊歷(八) 無佛居士の談

▲湖南線と運賃

群山を二十一日の午前七時出發江景に北行した、茲で一寸同行の大塊老の湖南線鐵道政策に關する所說の一端を紹介しやう

湖南線地方に於ける產米の輸送は汽車にもより船にも積み區々で統一されてゐない、相場や何かの關係上非常に急ぐ場合か若くば特殊の事情ある時は無論汽車積みによるが其他の場合は船で搬んでゐる乃ち江景平野は錦江の舟運により全州平野は萬頃江を金堤平野は東津江を羅州平野は榮山江を下すのである此の三南平野の產米搬出が汽車積み船積み何れとも從屬の判明をせぬやうな風になつてゐるのは怎うも鐵道運賃の高率な關係が主らしい、で吾々は鐵道局に望みたい、それは穀類の運賃を相當に引下げて米の開港場出廻りを主として鐵道に依らしむるか、若くば今少し引上げて船積みを主とするやうに致すか、何れかにせんと現在のやうに船から上げて又汽船に積込む若くば汽車から下して汽船に積込む──と云ふ事がゴッチャになつて主從關係が明らかでないと埠頭の設備金融の關係倉庫の建設等大に迷はざるを得まいし、輸移出系統の不整一は結局各方面の損失となりはしまいか

と云ふのである、湖南線は三道の米產地を貫ぬいてゐるから、一般は此鐵道が出來て營業を初めると直ぐにでも利益があるやうにも思つてゐたが、其の實際は豫想した程有利な成績を擧げ得ないらしい、それは大塊老の語るやうに運賃が高くて米の輸送に鐵道を充分利用しない爲めもありはせぬ乎、尤も或人に聞く所によると商機の關係上とも思ふが京畿や黃海道の米も群山に鐵路輸送し、湖南地方の米を釜山仁川に送る事もあると云ふ事だつた、これは湖南線に於ける鐵道利用の大に進んだ一例とは思ふが、尙ほ鐵道局は穀類運賃政策に改正を加へる必要がありはしまいかと思はしめた

◎第一回藥劑師試驗 第一

第一回朝鮮に於ける藥劑師試驗は來る十一日より總督府醫院構內京城醫學專門學校に於て施行さるべく學說試驗は十一日より十四日まで實地試驗は十八日より二十一日まで施行而して試驗成績は二十四日午前中に發表さるべきが試驗科目は左の如し

◇物理學◇化學◇藥用植物學◇生藥◇製藥化學◇衛生化學◇藥局方(以上學說)◇分析學◇藥品鑑定◇製藥化學◇調劑學(以上實地)

◎道府郡島書記講習會

總督府に於ては來る十一月六日より同十八日迄道府郡島書記講習會を京城永樂町研究會事務所內に於て開會す可し因に講習科目左の如し

▲地方行政▲產業▲稅務▲民籍▲土木▲警察▲學務▲會計▲衛生▲

◎米國大使著京

支那視察の途次駐日米國大使ガスリー氏夫妻一行は三日午後九時南大門驛着列車にて入京朝鮮ホテルに入りしが停車場には小松商工局長以下文武官外國領事の出迎ひありたり

◎趙重應子の歸京 趙重應

趙重應子爵は宿痾療養のため姑く金剛山の溫泉に親しみ居りしが其後健康恢復したれば三日平康を經て午後五時南大門驛着列車にて歸邸せり驛には李完用伯李允用男李載崑子等其他朝鮮各種階級の人々を始め樂隊を先頭に妓生等も出迎ひ何れも趙子爵の肥太りて大に健康を恢復せるを祝し合ひたり

◎瑞典領事入京 東京駐在

東京駐在瑞典領事ボンチー氏は三日午後九時釜山より入京朝鮮ホテルに投宿

◎宮田書記官著京 貴族院

貴族院事務局書記官宮田光雄氏は三日午後九時入京朝鮮ホテルに投宿せり

人事往來

▲久原鑛業會社員其他一行(七十五名) 四日午前入京天眞樓へ投宿の筈

▲宇都宮商館視察團一行 四日午前八時三十分釜山に向け出發の筈

▲野崎眞太氏(三越吳服店社長) 三日夜入京朝鮮ホテルへ

圖南言北

例の興亞公司問題は支那議會で大分やかましくなつて居る▲參議院の連中からは興亞公司借款について陳財務、谷農商總長は幾何のコムミッションを取つたのか▲取つたとすれば其のコムミッションは國家の收入と爲すべきもので個人に分配すべからずと質問して政府の答辯を促がして居る▲日本にも曾てシーメンス事件などがあつて內閣が瓦解したものだ▲參議院の剛巧も見ゆる▲が支那ではコムミッションの騷じやない政府よりの轉任命な連中が鳥渡其の手を拜借した樣に偽をも聞かず平然他人の懷分に坐り込んで平氣で我物顏にして居る將軍連もあれば▲ソツと懷へ入つた阿片の密輸や密賣をやつて居る將軍連もあるから大きな聲でコムミッション沙汰でもあるまい▲併し評論の喧嘩許りならよいがソロ〳〵物騷になつて來て十日の共和記念日の觀兵式を機とし總統暗殺の陰謀もあつたとか▲徐州會議も事によると大クーデターをやり兼ねない愈々以て危險だ▲此の際何とか始め相な馮國璋がおとなしく作て居るのは▲と見て居たら▲果して先生俄に有力な副總統候補として推薦せられて居るからだ▲其れから徐州會議の目的は段祺瑞を大總統に推したらしむるにありと云へば黎總統に對する陰謀なども妙に底も恭もあり相に聞へないでもない▲露國から大分日本に靴の注文があつた事は誰も知つて居るが聯合軍は皆英國製の靴を穿て進軍して居る▲其れから武器も同樣だと云へばして見ると歐洲大戰は日本と英國でやつて居る樣なものだとは某氏の氣焰であるがオール程ね

□附錄 本日再築落成號附錄四頁

福田眉仙畫伯著 久保天隨先生解說

支那大觀

空前の大スケッチ、ウォーク 踏破行程二萬五千支那里 全卷木版極彩色畫及玻璃版

全二卷 特價金拾貳圓

正價金拾五圓送料四十八錢

繪畫二百二十葉 解說

附錄 支那現物 支那平面繪地圖

序跋 工學博士 伊東忠太先生 文學士 久保天隨先生 文學博士 市村瓚次郎先生 鳥居龍藏先生 山路愛山先生 德富蘇峰先生 塚本靖先生 文學博士 內藤湖南先生 文學士 笹川臨風先生 志賀重昂先生

發兌元 東京市麴町區平河町五丁目五番地 金尾文淵堂

賣捌 東京市日本橋區馬喰町一丁目一番地 目黑分店

賣捌 全國各著名の書籍店

◎露軍前進して走つ

◎慶北農業施設

……を奪取し更に二千三百八十の兵と數挺の機關銃とを鹵獲し且つ敵の逆襲を撃退したりと（陸部電報）

……なりしが大正四年度に於ては二十七萬九千九百十九町歩を示し水田のみを得るに至れり尤も例年氣候の關係……咱年度に於て平均一石一斗一升三合……堆肥の製造等を奨勵し、又稗拔の奬……大豆及び紫雲英の栽培……成育しつゝあり本年に於ける果樹は降雨の爲め多く病蟲害を蒙り東村地……

◉大豆移出增加 （大邱）……內地需用多……出市日々に多きを加へければ……錢は下落すべき豫想なるも六個代を……

駐日米國大使ガスリー氏夫妻（三日夜南大門驛にて）

◉北京まで愉快な旅行ぢや
朝鮮滿洲には趣味を有つてゐる
駐日米國大使ガスリー氏の入京

三日の午後五時、駐日米國大使ガスリー氏の列車を京釜線大田驛に出迎へる、導かれたるは一等室の中央、大使は白つぽい背廣服に

◆灰色の中折帽 を戴き片手に『ノース、アメリカン、レビユー雜誌』を持ちながら靜かに腰掛けて居られた、左側の窓からは紅い大田の夕暉がさし込み滿臙鶴の如き大使の顏に輝いて居る、大使は上品な六十餘歲の老紳士で髯も白い、頭髮も白い、そして物を言ふ度に銀色の鼻眼鏡の下から和かい眼眸が輝く、『私は這回朝鮮を初めて訪問した、海峽の聯絡船は頗る客船式で氣持がよく且つ海上も非常な凪であつたからお蔭で愉快な航海を續けることが能きた、なに、朝鮮の

◆第一印象を語 れといふのか、私はまだ釜山に上陸して僅かに十二時間を經たばかりで一向不案內ぢや、併し沿道の風光は何れも愉快にして且つ趣味多きものである、殊に汽車の設備が完全で氣持よきことは意外であつてお蔭で大變愉快な旅行が能きる譯である、また朝鮮の農家の屋根に紅い唐辛を干したのは非常に美しい、なに、家屋を伺う思ふか？とそれは何ともお答致し兼ねる……』大使は愼ことを語りながら窓外の煙草畑を見て『時に朝鮮に於ける

◆煙草の耕作は 什麼ものか』との質問であつた、それは此のあたりから南鮮大邱あたりへかけて多く出來ます、殊に米國の黃色種さかホワイト、バアレーを盛んに培ると答へると頻りに『フ、ン〳〵』と諾いて居られた、それからまた朝鮮の木綿は何處から來るか、綿は什麼ものかと盛んに適製的な質問が出る、次にまた郷里米國のピッツバーグ市に於ける製鐵事業のはなしが出て製鋼用のタングステン、モリブデンのはなしなどもあつた、大使は更に語を續で曰く『私は今から三年前に日本に赴任した、私は日本及び日本人をも敬愛するがまた故郷に居る時から極東

◆殊に朝鮮滿洲 の事には非常な趣味を有つて居た、それで今回京城に二泊して五日の朝北京に向ふのであるが滿目の風光すべて自分の興味を惹かぬものとてはない、這回北京へ行くのは私の豫ての希望を滿すべく非常に愉快な旅行であつて私は少くとも十月の二十七八日頃までに東京へ歸らねばならぬから歸途は再び朝鮮鐵道を通過する積りだ……支那も非常に愉快だらうと思ふ……』それから朝鮮は土地の面積に比し人口が尠ない際だとのはなしであつた、斯くて大使は沿道に植ゑたアカシヤの並樹を見て『あれは政府で植ゑたか、それとも個人のものか？』と訊きながら『朝鮮の山が禿くなつたが、いかにも大事業だ』と諾かれた、傍らにはまた大使夫人が雜誌に讀み耽りながら時々京城の米國副領事カチース氏を顧みておはなしがある、猶ほ大使は昨今惡疫流行の折柄とて車中の食事は總て

◆東京から携帯 の鷄肉やパンで濟されるとのことで此の次ぎの食糧は京城で求めるとのはなしであつた、列車が水原驛に著いた時大使は總督府から出迎への菱田通譯官を引見していろ〳〵な雜談に耽りつゝ列車が定刻午後九時南大門驛に著くと厚い外套を取重ねながらプラットフォームに夫人と共に降り立つた出迎者には米國領事同夫人を始め小松頼長、高橋總督附武官等の人々があつて大使は寫眞團のマグネシウムがパッ〳〵と映發する裡に其の丈高きからだを莞爾として立つた、プラットフォームにはまた同じ列車で同人の救世軍朝鮮司令官ブレンボース佐が入京するので大鼓の音や喇叭の響が騷き渡る、大使は朝鮮ホテルから出迎への自動車に夫人と米國領事と菱田通譯官と同乘してホテルに向つた

◉仁川で出來る百五十噸の船

仁川に於ける造船能力は從來三十噸を越ゆる事能はざるが如き狀態なりしが今回井上善四郎氏新造の帆船第五大吉丸總噸數八十八噸八四が仁川に於て頗る良好に製造せられてより同地海運業者として優に百四五十噸の造船能力を有する事を確信せしむる經驗を與へたり因に同船長六十三呎三五、幅二十三呎一〇、深九呎五五、總噸數八十八噸八四登簿噸數七十六噸五二綱具裝置二檣アオア、アントアフトクーオー帆數ヘッドスル三枚フオースル一枚メンスル一枚を有する由

◉誰にも悦んで開放する
裝成つた三越の新築

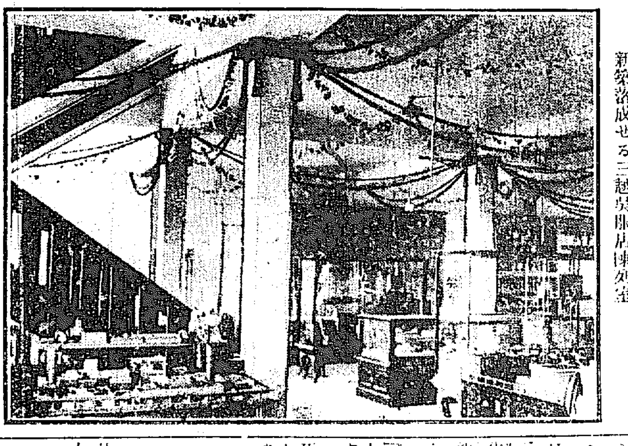
三越呉服店京城出張所は狹隘で益々新築工事中の處愈々竣工を告げ十月五日から開店する事となつた雜沓混雜の本町街頭に清新の裝ひを凝らしたる此の建築物は朝鮮銀行技師中村與資平氏の設計に係り其の樣式の新らしき點に於て利便なる點に於て發達なる點に於て京城の商店中に出色のものであらう、田中出張所長の談に建築は京城日報社の再築と一緒頃から始まつて恰度一緒頃に竣工を告げ其の上設計の技術家まで同じ人です、工事は雨天勝ちであつた爲めに豫定よりも一箇月ばかり遲れました愈々

◻五日から開店 します東京からわざ〳〵來てくれた裝飾係りが技術の奧義を盡して晝夜兼行で飾り付をして居りますから四日の晩からイルミネーションを點けてショーウヰンドの裝飾だけは皆樣のお目に掛ける事が出來ます、階下と二階とが商品販賣場で三階は全部豫備室として時々織物や繪畫などの陳列會を開く外は開けて置きますから成るべく婦人の會合などに使つて頂き度いと考へて居ります恰度場所も好いからお集りには至極便利なんです三百人位の御會合ならば優に能きます、私の方では悅んで

■何時でも御貸 し申します上にお茶位は差上げます、また二階の賣場の傍には休憩室が有りますから何誰でも這入つて休憩してお茶でも喫んで行つて頂き度いのです殊に冬分に成りますと充分にスチームを通して暖かくして置きますから何時でも飛込んで溫まつて行つて頂き度い、私の方の商店は御承知の通りの組織ですから買つて下さつたからと云つて特別な御世辭を申上げもしませずまた素見してお歸りに成つたからと云つて心持惡い眼付で睨むなどゝ云ふ事は無く見に來て下さる人は何時かは買つて頂くお客樣として大切にいたします其の間に屋上庭園も造へますから京城市中の眺望を一眸の內に集める事が能きます、と田中氏の案內で賣場の中を見る玄關を這入ると左の方に携帯品預り所が有る玆は

□店內の案內所 とも云ふべき處で何はどの邊で賣つて居ると云ふやうな事をお客樣に教へる處、右が奧樣階下の右方は木綿反物洋反物類右は化粧品及び靴、洋服附屬品と云ふやうな西洋小雜貨品、左の方の行き詰つた處に便所がある正面の大梯子を上つて二階の賣場に這入る此の梯子の手摺りなど皆な木彫の贅澤なもので玄關と共に同店の自慢のものだ二階へ上つて右が袋物、小兒用品陳列、左は半襟、帶上、帶揚類正面が同店の最も目立つた呉服類の賣場になつてある、東京で新調したと云ふ立派な硝子張のケースが並んで愈々陳列されたら婦人達の眼を惹くことゝ思ふ、右の方に兩便所西洋便所などの設備がされて居る二階から二三段の梯子を下ると休憩室が有つて

□女給仕が茶菓 を接待する、三階の豫備室は百疊敷に金泥模樣の襖で美しく飾つた廣い部屋である、活動寫眞でもすれば五百人位は這入れますと云つて居るルーフガーデンはまだ落成して居らぬが四十六尺の高さの屋上から見る南山、北漢及び京城市中の秋景色は亦格別の眺めである



新築落成せる三越呉服店陳列室

◉板の下に壓死

京畿道富川郡多朱面渡邊儀一長男雄（八）は數日前自宅庭前に立掛けありし約二百枚の板の空隙を潜り遊戯中俄然板は倒れて其下敷となり壓死したり

◉明巣覘ひ

住所不定前科二犯金古斗劍（二九）は八月一日正午龍山元町二丁目太田某方の明巣を覘ひ現金二圓を竊取したるを手初めに前後十七回に亙り龍山各町を荒し廻り現金懷中時計衣類雜品等數十點を竊取し居れる所を龍山憲兵分隊の手に捕へられ此程京城地方法院の公判に附せらる

◉京城の咽喉に惡疫が發生した
米も蔬菜も乾魚も鹽もこゝから入つて來る

京城に虎疫發生と共に最も注意すべきは高陽郡東幕に虎列拉患者の發生したる一事なり東幕は漢江を上下する貨物運送帆船唯一の寄港地にして毎日幾十萬の京城居住者が生活の資料なる米穀の如きも殆ど東幕より陸揚せらるゝものにして一日間に同地より京城に運び込まれる米は大抵七百石を下らず尙蔬菜乾魚食鹽其他の食料品中大半は東幕より運ばるゝものにして同時に隣接せる麻浦にも發生を見るに至れるを以て是等食料品に對しては此際更に一層の警戒を要すべし

コレラ彙報

▲虎疫豫防上生魚販賣停止 今迄のコレラ患者の發病系統を調ぶるに魚食より起りしもの多き爲め燕は虎疫豫防上最も注意すべきを以て其筋にては同業者に此旨を通達し二日より當分の間生魚販賣を休止すべく決したり（大邱支局）

▲患者密に上陸 島根縣西伯郡佐見村森水德（二〇）は九月半頃より方漁津方面に出漁中二十八日吐瀉し三十日歸港し牧の島石油タンク下の海岸より密かに上陸同蛭子町橫松尾神社境內に忍び居りたるを外出巡査の發見する處となり直に傳染病院に收容せり

▲防疫費寄附 京城本町一丁目大和軒仙波德重郎氏は防疫費として本町警察署に金五十圓を寄附したるを以て同署にては之を以て石油乳劑を購入し三日署員四班を組織して各町に亙り塵芥箱下水に撒布して大消毒をなしたり

▲鮮妓に講話 京城本町警察署にては二日黃金町に附近の居住者に衛生講話を爲し三日は水標町漢川娼妓三百餘名を召集して宮舘署長より組合の娼妓約三百名を事務所に召集して同樣講話をなしたり

▲正誤 昨夕刊二面コレラ彙報欄『麻浦に發生す』の欄中內麻浦洞九十五番地假屋朴京信妻徐氏（二〇）に關する記事の一節中下の如く訂正す『徐氏は一日發病二日午前五時遂に死去したるを以て大消毒の上採便の上檢鏡を行ひたるに黴菌を發見せず』云々

えんげい

△有樂館 淨瑠璃外一座の女義太夫は益々好評にて二日夜三日目の如き八時頃に大入札止めの盛況を呈したる有樣なりしが五日目四日夜の語り物は左の如くにて昇昇の淨瑠璃は恐らく當夜第一の聽き物なるべし

▲岸姫松三三道念節の段（昇女）▲信州記三の口上かん屋（金昇）▲阿漕浦平作住家（都昇）▲先代萩御殿政岡忠義（昌男）▲梅川忠兵衛新口村（錦昇）▲御所櫻舞臺上使（右昇）▲攝州合邦辻合邦內（喜昇）▲三十三間堂平太郎住家（昇六）▲壺の佐計三人上戸の段（東廣）▲三勝半七酒屋（昌昇）

△壽座三の替り 市川市十郎一座は初日以來依然として盛況にて二日夜の如きも開場早々大入札止めの盛況を呈したる位なりしが四日夜より三の替りとして綠左衛門の演物春日局、市十郎の箱根權現靈驗記讎の仇討にてその役割左の如し

△春日局、勝五郎（綠左衛門）△大河內長四郎、酒井左衛門、おなべ（長之助）△御殿中お江方、初花（慶女）△堀田庄五郎、願宅宅右衛門（長香）△大久保彥左衛門、悠右衛門、八藏（飯十郎）△瀧川、吾助、島井左京（家樂）△中老滿川、庸人喜內、さわらび（九十郎）△長吉、主計、次郎（錦太郎）△伊井直弼、家康、水谷口（小文治）△奴銀助、瀧口上野（市十郎）

▲呂昇日延べ 有樂館の呂昇は初御見得の人氣素晴しく初日以來殆んど毎夜滿員札止の盛況をつゞけ居れるが豫定の五日間にては到底一般に滿足を與ふる事能はず、各方面よりの希望頗る多く五日間にて打揚の處特に二日間丈日延べを爲す事となれり

◉訂正 一昨夕刊コレラ彙報中『仁川水產會社所有船』とあるは『水產組合所有船』の誤りに付訂正す

指環及時計
仁川本町
糸岐商店
電話三七〇番・振替京城七一

新刊書御案內
書名　著者　定價
◎禪窓閑話　菅原時保　九〇
◎一喝禪　中原鄧州　九〇
◎日本美術史講話　黑田鵬心　一八〇
◎批評論　稻毛詛風　一〇〇
◎西洋上古史　村川堅固　一七〇
◎農村處女會の組織及指導　天野
◎日本刑法　牧野英一
◎支那古田制の研究　加藤繁
◎物權法提要　三瀦信三
◎日本氣候學　中川源三郎
◎研究的代數學　長澤龜之助
◎奇汁記　大町桂月
◎獨習上達論作文　石崎篁園
◎三年程度古作漢文和譯自修書
◎諺調題書必携　松山堂
◎文人墨客書場必携　同
◎植物の傳道と生殖　石川光春
◎探偵　法律新聞社
◎社會に對する醫師　新家外
◎九種傳染病豫防執範　永川
京城本町　大阪屋號書店

朝鮮彙報
目次　大正五年十月一日（定價貳拾五錢 郵稅參錢）
◎口繪　◼浮石寺◼智異山中の部落◼白頭山中の獵舍◎拓本◼江原道原州靈鳳山◼興法寺眞空大師塔碑
◎治水と水利……持地土木局長
◎遺傳の原則に依る採種法……鏡模範場技師
◎窯業に就て……森中央試驗所技師
◎六月中水害救恤金下賜◎各道行政區域名稱一覽（京畿道）◎國境に於ける外國貨幣流通狀況◎大阪對朝鮮貿易◎東京に於ける朝鮮牛概況◎七月中朝鮮經濟槪況◎八月中の朝鮮貿易
◎果樹栽培指針（一）……勸業模範場纛島支場
◎原蠶種製造成績◎官立學校入學試驗成績調查◎學校生徒身體檢查◎漁業船◎山港の荷役◎八月中の鐵道運輸◎不動產登記制度（二）◎司法官試補實務試驗◎虎列拉豫防概況
◎土地の肥瘠に關する簡易鑑別法　向坂模範場技師
◎機業に就て……室田枝子◎道長官と警務部長との職制上の關係に關する永野法學士の所說に就て……小松淺五郎◎滿洲通貨一斑（一）◎戰時中の露國◎地方通信◎雜報◎叙任及辭令
◎朝鮮に於ける重要農產品及農產加工品並に內地に於ける同種品の貿易槪況
◎統計◎法令及通牒◎民刑事判決例
◎朝鮮語の研究……新庄通譯官
▲投稿を歡迎す　原稿締切期限毎月十日
▲販賣店　東京神田崧松堂　朝鮮各地の書店に販賣す
▲廣告料　一頁十圓　取扱店　京城　ウツボヤ書籍店

釀造元　福岡縣三井郡山川村　富安本店
發賣元　京城永樂町二丁目　富安京城支店　電話一〇三九番　振替口座四三九番

現代女そろひ　新秋特別號
▲人知れぬ妻の悲しさ樂しさ　軍人▽政治家▽文學者▽外交官▽實業家
涙を飮んだ秘密の出征……長岡夫人
親に呼出されて……小久保夫人
苦しい稽古生活の半面……小山內夫人
良人に隨て外國に行く……上田夫人
捨てる前に一度使ふ心懸……井上夫人
堂々たる婦人の人所論
男性的道德論……平塚明子
若き女へ……與謝野晶子
古き新しい友……平田歌子
婦人同盟論……西川文子
女、人、母……山田わか
若き命に理解なき保護者……原田皐月
自由離婚論……西川松子
女子大學入學の要求……岡田幸子
無用視さるゝ主婦の語……櫻井靜枝
家庭改良意見……全國の四十名士
主婦の經驗……三宅
苦心談……田村俊子
戀も戀の女王……尾島菊子
私の好きな戀ヒロイン……小野美智子
好きな戀物語……長谷川時雨
捨兒……森田草平
兩國の秋……岡本綺堂
私の好な（附錄）お待兼ねの長篇戀々待たれる
姑と別れるまで……日向きむ
私のカチユーシヤ……松井須磨子
書家の妻の觀たモデル女……岡田八千代
男は斯して女を誘惑する……中平文子
上流婦人界の話題……樫婦人
與樣の藝妓に學ぶ……棠花子
私の鍵をかけない家庭……相馬良子
女の見た女の心……三宅花圃
美人となる法……小磯みな子
人物評論現代女百人……小口みち子
趣味ある婦人の讀物
文學者・音樂家・書家・女優・女……にならうとする婦人へ
中央公論社　東京市本郷區西片町十番地（振替東京三十四番）　持價三拾錢　郵稅二錢　本號に限り

女鳩

渡邊默禪

「二三」岩窟

生駒はちようど獲物を狙ふ猫のやうに、目を圓く瞳を竦め、左右の腕に渾身の力を籠めて、ぢりぢりと鳩子の背後に躙ひ寄つた。凡ての計畫が破れ秘密が洩れた今、鳩子一人が此處に立つてゐるといふことは、最後に取殘された唯一つの機會として天が與へてくれたやうなものである

この機會を失つたら一切が絶望だ、と彼は思つたのであるが、生憎小屋を出る時に、恁うとは豫想しなかつたので何の兇器をも準備して來なかつた。で餘儀なく身に著けてゐた袴の紐を外し、それを喉首に卷きつけて只一締めに絞殺さうといふ豫定だつた。

其時、一陣の山嵐が颯と吹いた。岩の雪にさし込んであつた松明の火がそれに煽られて危く滅さうになつた。鳩子は急いで松明を拔き取らうとして腰を前に屈めた。

此處だッ！生駒は矢庭に飛揚つて二足前に踏出た刹那。前面の岩の上に突如として人影が現れた。ハツと驚いて逡巡いだ途端に、鳩子の手に拔きとつた松明の火がふつと消えた。

『や、お待遠！あゝ火が滅えましたかね』。

問ねる聲が大野であつた。生駒は素捷く地に伏して、蟹の逃げるやうに後退した。

『ね、風にとられつちまひましたの仕樣がないわね』。

『可いです。今點火ますから……兎に角此方へお上りください』。

大野は鳩子の手をとつて岩の上に引揚げた。そして燐寸を摺つて更に火を松明に移した。二人の影が岩陰に見ねなくなると、生駒は蹯壁の如く起揚つてのそのそと前に歩き出した。

鳩子は誘はれるまゝに洞の口に進んだ。見ると掘顚された雪の上に丸太や棒、石繩の斷片、砾、土塊、そんな物が狼籍と散らばつたなかに、紫色の血潮の痕がさながら牡丹の花を踏みにじつたやうに、爛斑として雪を染めてゐた。物凄かつた人と獸との闘ひ、慘憺たる印象は猶醒さい夜氣に殘つて、まざまざと鳩子の目に浮いて來る。

『さア、お入りください』。

大野は炬火を持つて先に立つた。鳩子は怖々その跡について。

黑雲母を帶びた六角瓶狀の結晶が野開して、呀然とした口を開いた岩窟は、見たところそんな奥深くはなかつた。穹窿形をなした左右の岩壁は火に反射してぎらぎらと光る。それが無數の砂金でも凝つてゐるかのやうで、ちよつと驚かされた。巾は六尺以上、二三人は樂に立つて歩かれる。

三間程奥に進むと最う行止りであつた。其處に何やら眞黑い物が蹲まつてゐた。火光が射すとそれが忽ち勃然と起かへつたので、鳩子は悸然して後退りした。

『お嬢さん、是です。お目に懸けるものは……能く御覧ください』。

大野は松明をその上に翳した。鳩子は不思議さうに瞳を向けた。

『御存知ですか』。

『いゝえ』。

軍艦羅紗のマントを肩に被つて足を前に投出した男、古い背廣を著てグートルを卷きつけた打扮が、どうやら土方の組長とでもいひさうなすたいるだつた。年頃が二十四五、眼色のぎよろりとした、色の淺黑い、角張つた顔に[illegible]。

『[illegible]や不可ねいやな。それ、過日の晩、大井澤の俺の家でよ。短刀をつけながら泌々話をした源太ぢやねいか。アハヽヽ、お嬢さん、飛んでもねいところで又たお目に懸りましたなア』。

『あら』。

鳩子は肝を潰して、少頃茫とその顔を視詰めてゐた。

毛皮なめし並に**仕立**
鳥獸剝製調進販賣鳥毛類高價買入れ
萬毛皮 鳥羽毛類 鳥獸剝製標本
京城本町二丁目 **樽元商行**
電話長二〇六五番 振替京城三四九九番

京城本町三丁目(壽座南隣)
伊藤耳鼻咽喉科醫院 電話三七七番
醫學士 伊藤正隆

新刊紹介

▲一大帝國(十月號) 澁澤男外十一名士の實業界革新論、天野博士不眞面目を一掃せよ、田中教授日本製品と民族性、森村男信仰と經營力に就いて等 定價十六錢東京芝琴平町其社

▲通俗電氣世界(十八號) 五錢東京丸の内其社

▲工友(十月號) 土木建築請負業の將來、技術家訪問記、飛行機無線電信等別に依り京城時價表を添へたり(十錢京城長谷川町工友俱樂部)

▲住宅(九月號) 五錢東京芝琴平町一住宅改良會

▲國柱新聞(九月號) 七錢 東京下谷櫻木町一師子王文庫

▲婦人週報(三十九號) 四錢五厘 東京牛込市ケ谷田町一其社

▲東京藥種貿易商報(二百四十二號) 東京日本橋區本石町四の一七其社

▲現代三科學(九月號) 二十八錢東京府豐多摩郡澁谷町下澁谷二一五其社

▲趣味講座(第一冊) 繪畫、彫刻、工藝美術、演劇、音樂、文學等に就ての諸名士の講義を纏めたるもの新らしき試みの一なり(會費一箇月五十錢東京神田區裏神保町六趣味の友社)

▲朝鮮之副業(第六號) 『副業奬勵は農村救濟の根本義なり』道家齊『新たに發見せられたる朝鮮の化學工業』今津明其他養豚者心得牡蠣養殖事業例により農家必讀の文字豐富なり(十五錢京城本町一の四同社)

恐るべき腦神經衰弱症は僅かハガキ一本で癒る

●氣のついた頃は遲い

なあに其中に癒るだらうと輕い頭痛を放つて置くのは誠に危險い話である文明病――腦神經衰弱は誰も氣がつかない中に漸々人を蝕さうと迫つて來る『是は不可い！』と考へ著いた頃は既も正眞正銘の神經衰弱に捉はれて終つて居る這麼恐ろしくも亦哀れな病氣が他にあらうか！

●處世術の指南車

人が生きて居る間は怎麼富豪でも又は乞食でも腦の働きを失くする事は出來ない。道は足で歩み行くが社會は腦で進まねばならぬ、苦辛も快樂も神經の作用が主宰するので少しでも神經に故障が來たら身體全般の機能が傷められる譯である、世の中を勇ましく立派に起つて行く唯一つの法は天から享けた腦を大切に守り處世術に誤りのない樣にするのが何よりの得策である。

●恐ろしい腦神經衰弱

大魔王サタンの毒手よりも恐ろしい腦神經衰弱症(婦人にはヒステリー)は人が知らない中に冷酷い手を差展べるそうすると其人は第一不精になつて藥書一枚書くのも億劫になり其癖物事に憔り出して儘にならないから懊惱する夜は眠れず頭がシクシク痛むかと思ふと眩暈がして耳が遠鳴をすると云ふ忌な氣分に捕はれて是からが精神に順穩を缺く段取となり初める。

●哀なる落伍者となる

自分の頭を信用する事が出來なくなるのだから自然決斷力自信力記憶力を亡して廣い世の中に自分ばかり取遺された樣な哀れな氣持になつて物を言ふのも臆になりブラブラして閑罷る憂鬱症に陷つて了ふのである自信記憶決斷の三つは人世の最も大切な武器である是がなくて何になる噫社會の落伍者生存競爭の劣敗者として悲慘なる運命に泣く身の上となるのである。

●最良藥物的療法

人間の値打を失して終ふ腦神經衰弱は年々殖に行く文明病であるが何とかせねば國民の力が亡びる譯、それを憂ひ醫學士常持爲治氏は健腦補神の療法に畢世の努力を吝まなかつた而て良藥レーベンの創製を齎したのである。

●良藥であると云ふ證據

レーベンの効果に就ては既に岡田博士を初めとして專門諸大家陸海軍大醫が口を揃へて推奬され或は有効證明迄もして居られる、此程レーベンが最善の良藥である事は其藥價から判斷しても能く解る、藥は西洋が進歩して居ると云つても強ち日本人に其儘服用して宜いとは云はれない。

●治療法書を希望者に呈す

凡そ如何なる名藥と云つても飲んで直ちに癒るものではない病は氣で持つと云ふ位元して神經衰弱の如きは神經其者の病氣であるから尚更精神の持ち方が肝要である即ち精神療法と相俟つて服藥の効果が現れるのである。常持學士は最も懇切に腦神經衰弱療法を著述せられた。振假名附の平易なスラスラした文字で綴られたから新聞が讀める人なら誰でも解る本である、患者には宜い指導者であらう。

●迷はず今すぐに

腦病の藥はレーベンばかりではない隨分他にも澤山ある、然し作らの名藥が多くつて世の人は實に信用を置かない樣な趨向を持つて來た。之は不正商人が蒔いた惡い藥の報ひである諸子は欺されてはならぬ。自分で怎も腦病だ神經衰弱らしいと氣が付かれたら直ぐ御近所の藥屋へ走つて腦病にはレーベンが一等好い藥と聞いて居るが如何と熟く訊ねて御覧なさい信用ある藥舖で公平な人でさへあれば必ず直ちにレーベンを出して、非常に好い藥ですと答へるでせう。

●レーベンが贈る福音

幾百萬人の患者に試みられて何れも効の確言でないと云ふ實驗を得たのであるこの光榮ある歷史は益良藥の光を今まで以上に發揮するは論を俟たない、腦病の苦悶から逃れ樂しい幸福な生涯に導くのはレーベンが自ら信ずる天職である。時や正に秋夜讀書の候となつて一年中の知識を蓄へる大切の季節である男女學生は勿論紳士事務家等あらゆる人は今すぐレーベンに縋つて腦神經の健全を計らなければならない、それには只一本の藥書を繙讀して

常持醫學士の述『腦神經衰弱療法』及び『精神療法』贈送 願上候

の二行の文を東京銀座弓町二三弘院中南定太郎氏宛お出しになれば只だけで此二冊の本を送るのである、良藥レーベンが斯うして日本全國は勿論世界の都市に頒布され恐るべき幸福の敵たる腦神經衰弱を癒して往くのは偉ぶべき努力であると信ずる善は急げとある此病に罹つた人兆候のある人は遠慮は無用即刻ハガキにて申込み此二冊の本を貰はれよ。蓋つて幸福は諸子の頭上に戻つて來るに違ない。

眼の衛生

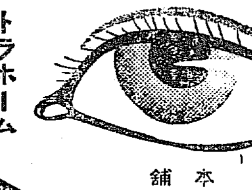
●日本には盲目が多い譯トラホームも中々盛也

歐國何れも醫學衛生の進歩した獨逸では統計で見ても眼の惡い者は尠い、獨逸では一萬人中盲目者五、六人に對し日本では五六十人の割合に多い。獨逸にはトラホームは殆ど無いが日本では大正二年全國小學兒童の調査に男生七十七萬人に十三萬人、女生六十四萬人に十二萬人のトラホーム患者が混つてゐる。斯んな次第で日本は埃及と倶に世界のトラホーム國と呼ばれてゐる。

一體日本人は少しも眼の衛生を重じない、惡くなる筈だ、故に眼の性の善くない人常に眼を使ふ人は極めてよき目藥を用意して日に一度位は眼に滴す樣にするのがよい。さすれば目の勞を醫し種々の眼の病、殊に失明の原因の一たるトラホームを豫防する事も出來る。

而て大切な眼の藥であるから能く選ぶ必要がある。其れには信用の高い藥舖丹平商會の設備完全な製藥場で藥師藥學者達が研究新製した『直治水』が一番確實である。此目藥はトラホーム其他流行眼一切に實によく効く、殊に科學の最新發見の藥劑を配して施したものであるから今迄の目藥の樣に古くなると利かなくなつたり敗たりする惧がなく、其上に新意匠の點眼器は總玻璃製であるから金屬製の點眼具の樣に腐蝕の怖れがなく、眞に絶對安全の點眼藥は『直治水』である。藥價は十錢廿錢本舖大阪心齋橋、東京銀座町の丹平商會其他賣藥店で取次してゐる速に用意あれ

廣告



暗夜に燈火
眼病に直治水
トラホーム はやりめ、つかれめ、やにめ、つきめ、其他眼病に效あり
直治水 目ぐすり スグキク
本舖 大阪 東京 丹平商會

ばい病 新の療法
肺病ロクマクで種々の手當も効なくお困りの方切手三錢送れ永年の病も自宅で快癒する最新治療の詳細を報す
名古屋市南小川町一丁目 救生舘

山縣五十雄 村上唯吉共著
▲富の道しるべ 價十五錢 郵税二錢
京城太平通 振替三〇〇番 京城日報社代理部

京日案內
普通一回前金一圓 一行一回 三十錢 番外六十錢 一回前金一圓 五錢增 無料
▼申込後中途掲載中止の節は料金返戻せず

普通

◎集金人及社員 募集保證人を要す 希望者履歷書携帶あれ シンガーミシン會社龍山分店 455
◎店員入用 市內身元保證要す 本町四丁目『食料雜貨丸山商店』 電話一四九四番 459
◎金融 官吏商人小に拘はらず迅速に取扱 本町二丁目五五 壽町一丁目通 柏屋 460
◎藥局生皮膚病婦見習缺員ある希望者至急來談あれ 仁川 佐藤病院 435
◎讓店 市內櫻井町目拔場所日用雜貨店目下盛に營業中都合に依り居拔の儘至急讓度し(姓名在社) 438
◎金融 月收の御方に極秘信用貸金 接本人來談又は御報次第伺上候 花園町八七 電車通質屋 大和屋 439
◎濁酒賣出し 賣子三名入用 龍山元町一丁目 電話百五十四番 島山酒造場 443
◎代診生至急入用 履歷書携帶來談あれ 希望者は自筆の 姓名(京日仁川支局) 454
▼古本類拂底 大口注文 非常高價買受 多數引受 本町 電二五二七 ルツボヤ書店 427
▼有給外交員數名採用す 希望者は履歷書携帶本人來談あれ 京城花園町一二三 中央金物新報朝鮮支社 453

番外

◎金融 月收の御方へ信用極秘立替 御報伺上候 京城大和町三不老湯前横丁下る 起木屋 457
讓店 市內目拔の場所、有利なる玩具商、今年歸國に付き居拔の儘百圓餘りにて讓りたし(姓名在社) 456
コレラ豫防と電話口 消毒器が何より肝要です 黃金町三 電話一四二五 巴商行 406
病人輸送 寢臺車 普通病用 傳染病用 各別々に設備有之候 京城本町二丁目 電話百十六番 京城醫師會御用 前山組 418
▲洋本職工至急入用 但し洋線印刷に經驗ある者(商店名在社) 423
京城春川間 每日午前八時出發 京城春川間自働車賃金片道四圓 南大門通京一丁目 電話二一九番 廣橋自働車組 主務 金正淵 428
店員入用 呉服店に經驗ある者廿一歳より廿五歳迄一名十四歳の小僧一名希望者履歷書送れ 江原道春川邑內 田中呉服店 440
立替資金 恩給年金受領の方へ 並に公債債券賣買 仁川山手町六丁通 仁川韓國社內 會田 453
下宿讓る 下宿業今回歸國に付居拔きの儘 市內便宜の場所にある有望なる 大至急讓渡したし(姓名在社) 450
▲鑛物各種分析 京城太平通二の三三(元朝陽分析所) 電話二八三 松永分析所 260

牛乳
培士獸醫服部正太
東亞牧場

質
京城黃金町一丁目 永樂町(停留所北入)
堀佐營業所 (電話六三九番)

御會葬御禮
十月三日
後藤連平

芳輔儀送葬の際は遠路の處御會葬被成下奉深謝候乍略儀以紙上御禮申上候 敬具
大正五年十月三日
兄 伊藤正次
親戚 一同
友人 一同

金泉醴泉間自動車時間 [illegible]
金泉織居自動車支部 金泉電話四八番

大邱浦項間自動車時間 [illegible]
大塚農場自動車部 大邱出張所 電話二七番

汽船釜山出帆廣告
○立神丸 門司、神戸、大阪行 月 日後五時出帆
○元山丸 清津、浦鹽行 月 日後十時出帆
○元山丸 城津、浦鹽行 月 日後十時出帆
○小倉丸 元山、西湖、新浦、城津、清津行 月 日後六時出帆
○第三琴平丸 門司、宇品、神戸、大阪行 月 日後六時出帆
○天興丸 任須奈、嚴原、壹岐、博多行 毎月二日九日十四日廿一日廿六日 午後十時出帆
釜山埠頭立新町 本船取扱店 大池回漕部

阿波共同汽船仁川出帆
○芝罘、大連行 同榮丸 九月二十九日後四時入 十月一日正午出帆
朝鮮總督府命令航路 [illegible]
○第一[illegible]丸 西湖津沿岸各港を經て雄基行 月 日前八時出
○鎮南浦、清津、浦鹽行(元山出帆) 月 日後九時出
阿波國共同汽船株式會社
仁川代理店 山下回漕部
元山代理店 田口回漕部
京城取次店 河村運送店

朝鮮郵船出帆
○全羅丸 京城、黃海、木浦、鎭海、元山 十月九日 釜山發
○成鏡丸 十月十八日 釜山發
○慶城丸 十月三日 釜山發
○昌平丸 十月八日 元山發
○鏡城丸 十月四日 元山發
○平安丸 十月二日 元山發
○忠清丸 十月十二日 元山發
○永興丸 毎月廿八回 元山發
○會寧丸 十月六日 釜山發
○江陵丸 毎日 浦項發
○三浦丸 十月六日 釜山發
○海州丸 十月 日 釜山發
○順天丸 三日目毎ニ 木浦發
○慶興丸 十月四日 木浦發
○匯興丸 十月二日 木浦發
○公州丸 十月七日 木浦發
○宗信丸 十月三日 仁川發
○江原丸 十月七日 仁川發
○晋州丸 十月二日 仁川發
○醴水丸 十月七日 仁川發
○全南丸 毎日午前 仁川發
京城南大門通 松原運送店

日本郵船仁川出帆
○大連、天津、牛莊行
相模丸 十月九日 正午出帆
高砂丸 十月十九日 正午出帆
三河丸 十月三十日 正午出帆
仁川海岸町 電話十一番 堀回漕部

御注意 ●朝鮮鐵道及び南滿洲鐵道會社線との連絡切符發賣仕候 連絡切符乘車券は出帆時刻前へ一時間前迄 ×印は本船一頭
切符發賣所 大阪商船會社仁川支店 京城切符發賣所 內國通運會社支店

大阪商船仁川出帆
○外航所臨航路遅延航路を除く…時は五分前を以て連絡切符發賣仕候
○群山、木浦、釜山、關門、神戸、大阪行
須磨丸 十月四日 後五時出
薩州丸 十月十一日
天智丸 十月七日
○木浦、釜山、嚴原、鄕の浦、長崎行
信濃川丸 十月二十日 後二時出
信濃川丸 十月三日
○群山、釜山、横濱行
福州丸 十月九日 後二時出
潮州丸 十月廿一日
○南浦、關門、神戸、大阪行
漳州丸 月 日 後二時出
○鎭南浦、大連行
信濃川丸 十月十五日 後二時出
信濃川丸 十一月二日
○大連直行
福州丸 十月三日 正午出帆
潮州丸 十月十五日
○鎭南浦行

尼崎汽船仁川出帆
○君が代丸 十月三日後四時 大阪直行
群山、木浦、釜山、下關、神戸、大阪行
○大有丸 十月七日後四時出帆
○神代丸 十月十三日後四時出帆
○秀吉丸 十月十八日後四時出帆
仁川海岸通二丁目 電話五十九番 高杉回漕部

商況

神戸電報 京取電報 [illegible]

大阪三品

後場高張寄付十四圓二十七錢△中限寄付十四圓四十八錢△先限寄付十四圓七十三錢より十一圓八十九錢と暴落したるも④へ其他より冷氣を催ふしたるが知ろ能はざるも新市況會強[illegible]

△大豆 長綿大豆[illegible]六十[illegible]て百九十二叺出來たり △期[illegible]中限四十二圓五十[illegible]五十[illegible]四十九錢